Kodak

s1220 フォトスキャンシステム

ユーザーズガイド

A-61601_ja
6J7227

本製品には Pegasus Imaging Corp., Tampa, FL, (www.pegasustools.com) が所有し著作権を有するイメージ処理コードの一部が使用されています。ALL RIGHTS RESERVED.

安全性について

ユーザへの注意事項

- スキャナーは 5.5 kg の荷重に耐えられる安定した、水平な場所に設置してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーと電源装置は室内の乾いた場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- スキャナーに付属していた電源コードのみを使用してください。その他の電源コードを使用すると、感電または製品破損の危険があります。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを傷つける、結ぶ、切る、改造などはしないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続してください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- スキャナーに付属の AC アダプタ（モデル Tectrol NU60-C240250-13）のみを使用してください。スキャナーの AC アダプタを別の製品で使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外してください。コダックサービスセンターにご連絡ください。
- スキャナーや AC 電源アダプタを分解または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルが接続されたままでスキャナーを移動しないでください。コードとケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に電源コードをコンセントから抜いてください。
- コダックが推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の化学物質安全データシート (MSDS) は、次のコダック Web サイトで入手できます。(www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「消耗品」を参照してください。

環境に関する情報

- *コダック* s1220 スキャナーは、世界的規模の環境要件を満たすように設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄のコダック代理店にお問い合わせください。
- 廃棄やリサイクルに関する情報については、地方公共団体または Electronics Industry Alliance（EIA 米国電子工業会、www.eiae.org）までお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- 部品は再利用、リサイクルを行うように設計されています。
- *コダック* s1220 スキャナーは Energy Star に準拠しており、出荷時に節電モードは 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合

このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集／回収プログラムの詳細については、最寄のコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70dB（A）以下。]

電源システム接続

この製品は、相電圧 230 V のノルウェーの IT 電源システム向けにも設計されています。

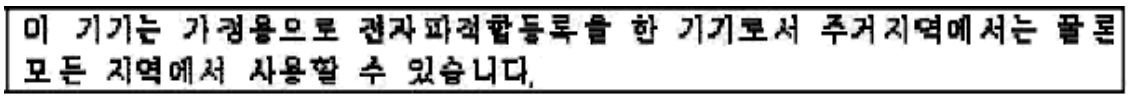
EMC 声明

米国：この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、居住設備での有害な電波障害に対して適切な保護機能を提供するように設計されています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置、ご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、取扱説明書に従って設置した場合でも障害が発生する可能性があります。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（これは装置をオン／オフすることで判定できます）、次の 1 つ以上の方法で障害を改善されることをお勧めします。

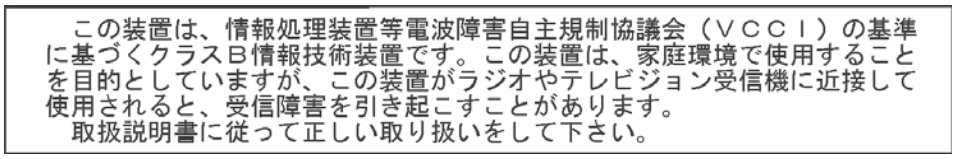
- 受信アンテナの方向を変える、または場所を移動する。
- この装置と受信機との距離を広げる。
- この装置を、受信機が接続されている回線とは異なるコンセントに接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ / テレビ関係の技術者に問い合わせる。

準拠に対して責任を負う当事者の明示的な許可を得ないまま機器を改造または改変した場合は、機器を操作する権限を失う場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント / アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国：この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。



日本：この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビジョン受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい設置と運用を実施してください。



はじめに 1-1

設置方法 2-1

画面の説明 3-1

写真のスキャン 4-1

メンテナンス 5-1

画質の向上 6-1

トラブルシューティング 7-1

付録 A

1 はじめに

目次

参考資料..... 1-1
アクセサリ 1-2
同梱品一覧 1-2
スキャナーのコンポーネント 1-3

コダック s1220 フォトスキャンシステムは写真を簡単にデジタル化し修正でき、また、オフィスで使用するドキュメント スキャナーとしても使用できます。*コダック* s1220 フォトスキャンソフトウェアと s1220 フォトスキャナーを併せて使用すると、写真のスキャン、赤目除去、画像のレタッチや回転、画像のシャープ化、CD/DVD 作成などを必要に応じて行えます。スキャンした写真はさまざまな用途に使用できます。たとえば、印刷、E メールによる送信、CD/DVD への書き込みが可能です。*コダック*ギャラリーをはじめとする写真管理システム (日本では導入未定) に画像をアップロードして共有したり、カレンダーやフォトブック、スライドショーの創作にも使用できます。システムに同梱のスマート タッチ ソフトウェアは、コダック s1220 フォトスキャンシステムでの一般的なドキュメント スキャンをサポートします。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外にも、次のドキュメントを参照ください。これらのドキュメントは、インストール CD にも収録されています。

- **インストールガイド** — スキャナーの設置を手順ごとに説明します。
- **リファレンス ガイド** — スキャナーをクリーニングする手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばにおいて置いて、いつでも参照できるようにしてください。

上級ユーザ用に、次のガイドがあります。

- **スキャン セットアップガイド** — *コダック* s1220 フォトスキャナーには、TWAIN データ ソースが組み込まれています。スキャン セットアップ ガイドでは、基本的なイメージ処理機能の方法を説明します。インストール CD に PDF ファイルで収録されています。
- **スマートタッチ ユーザーズガイド** — スマートタッチ機能の使用法方に関する情報と手順を説明します。本ガイドはインストール CD に PDF ファイルで収録されていて、ヘルプファイルとしても提供されています。

アクセサリ

- ***コダック* A4 フラットベッド アクセサリ** — *コダック* A4 フラットベッド を使用すると、フィーダに通せない写真（破れの大きい写真、もろい写真、カールのひどい写真など）、製本されたアルバム、スクラップブック、また、最大 219 x 300 mm の原稿などもスキャンできます。CAT#167 7288
- ***コダック* A4 フラットベッド用ブラックバックグラウンド アクセサリ** — 主に背景の白い写真をスキャンするときに、このフラットベッドカバーを使用すると、イメージに黒い境界線を追加できます。CAT#863 6870
- ***コダック* A3 フラットベッド ユニット** — *コダック* A3 フラットベッド を使用すると、フィーダに通せない写真（破れの大きい写真、もろい写真、カールのひどい写真など）、製本されたアルバム、スクラップブック、また、最大 302 x 461 mm の原稿などもスキャンできます。CAT#179 6747

同梱品一覧

梱包品内容の確認

- *コダック* s1220 フォトスキャナー
- 出力トレイ
- ドキュメントスキャン用のプリセパレーションパッド
- オプションの出力トレイキット
- USB2.0 ケーブル
- 電源アダプタ
- AC 電源コード
- USB ソフトウェアドングル
- クリーニングキットの試供品
- ダストカバー
- 次の物品が入ったフォルダ
  - インストール CD 以下を含みます
    - *コダック* s1220 フォトスキャンソフトウェア
    - ドキュメントスキャン用のスマートタッチ ソフトウェア
    - s1220 フォト スキャナーのドライバソフトウェア
  - ユーザーズガイド（英語版）
  - リファレンスガイド（英語版）
  - インストールガイド
  - はじめにお読みください
  - サービス & サポートの問い合わせ先シート
  - その他のパンフレット（「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません）

スキャナーのコンポーネント

前面部

スキャナーカバー — このカバーを開いて、内部のイメージングガイドやセパレーションモジュールなどのメンテナンスを行います。

チルトボタン — このボタンで、スキャナーの角度を変更できます。写真をスキャンする場合は、スキャナーは下向きにしたままにしてください。

標準出力トレイ — スキャンされた写真を収納します。このトレイは、5 枚以下の写真をスキャンする場合に使用します。それ以上の枚数をスキャンする場合は、s1220 フォトスキャンシステムに同梱されているオプションの出力トレイを使用してください。

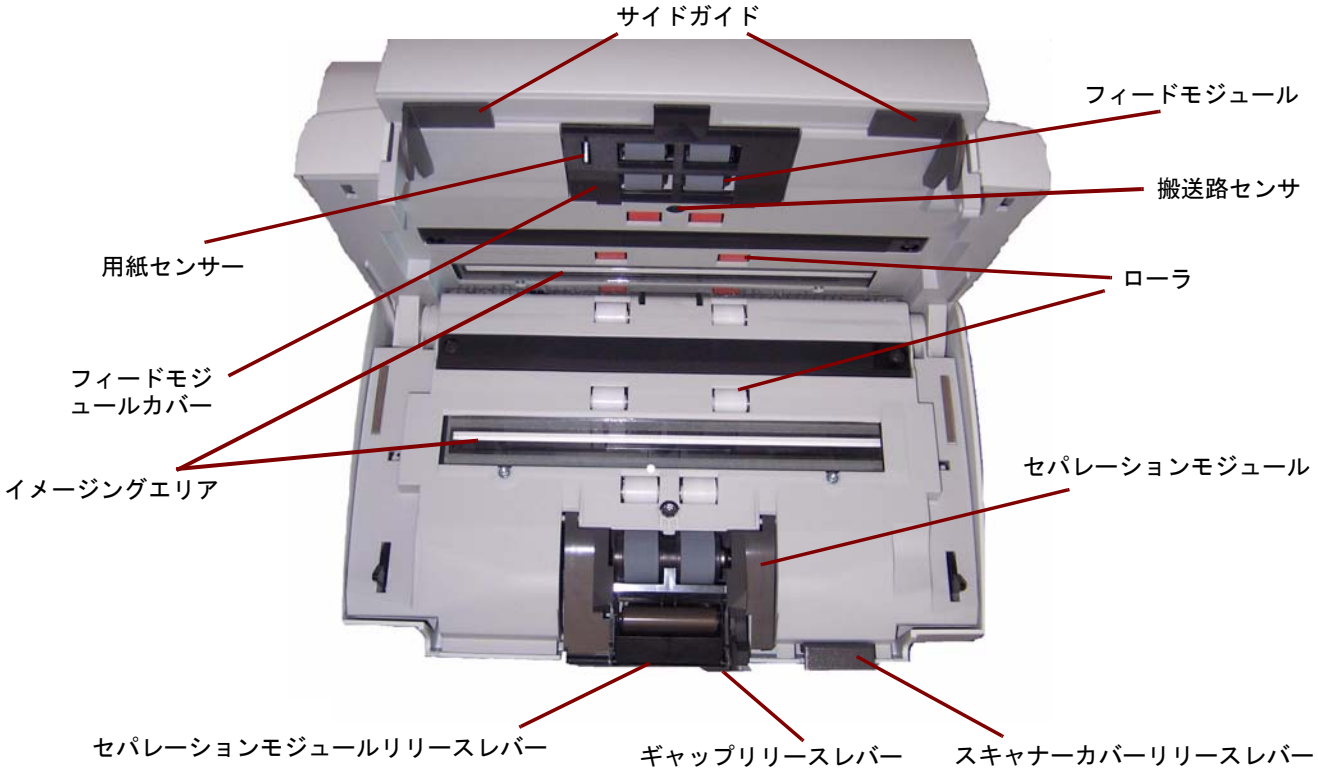
入力トレイ — 最大 25 枚の写真／ 75 枚の用紙を収容。

ファンクションウィンドウ、スクロールボタンとスタートボタン*はシステムでスマートタッチ機能を使用して*、ドキュメントをスキャンする場合に使用できます。

LED インジケータ — 点滅または点灯してスキャナーの状態を表します。

- **緑色で点灯**：スキャナーの準備完了
- **緑色で点灯**：スキャナーの準備中
- **赤色で点灯**：PC との通信なし
- **赤色で点滅**：*「スキャナーカバーが開いている」*などのエラー状態を表します。このとき、ファンクションウィンドウには「E」と表示されます。エラーコードの詳細は、第 7 章*「トラブルシューティング」*を参照してください。

内部



サイドガイド — これらのガイドをスライドさせ、スキャンする写真のサイズに合わせます。

用紙センサ — 入力トレイ内の写真を検出します。

フィードモジュールカバー — フィードモジュールやフィードモジュールタイヤを清掃、交換する場合に、このカバーを外します。

イメージングガイド — 最適な画像品質のため、イメージングガイドを清潔に保ってください。

セパレーションモジュールリリースレバー — セパレーションモジュールを清掃、交換する場合、このリリースレバーを下に押してモジュールを取り外します。

ギャップリリースレバー — 特別な処理を必要とする写真（大きく破れた写真など）の場合は、このレバーで、フィードモジュールとセパレーションモジュール間のスペースを手動で調整できます。

フィードモジュール、ローラ、セパレーションモジュール — さまざまなサイズ、厚さ、素材の写真をスムーズに給紙し分離します。

搬送路センサ — スキャナーを通る用紙と写真を検出します。

スキャナーカバーリリースレバー — スキャナーカバーを開くためのレバー。搬送路を開いて、清掃や紙詰まりを除去できます。

裏面

電源スイッチ — スキャナーをオン／オフします。

電源ポート — 電源出力をスキャナーに接続します。

USB ポート — スキャナーを PC へ接続します。

フラットベッドポート — オプションのフラットベッドアクセサリをスキャナーに接続します。

セキュリティロックポート — セキュリティロックとスキャナーを接続します（ノート PC に使用されるセキュリティロックポートと同類）。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入いただけます。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。

2 設置方法

目次

スキャナーの接続 2-1
Windows 7 と Windows XP 向けのインストールメモ 2-2
*コダック*ドライバソフトウェアのインストール 3-2
標準出力トレイの取り付け 2-4
オプションの出力トレイキットの取り付け 2-5
電源コードと USB ケーブルの接続 2-8
スキャナーの電源を入れる 2-9
アプリケーションソフトウェアの起動 2-9
アプリケーションソフトウェアの終了 2-9

スキャナーの接続

このセクションでは、スキャナーに付属の *『インストールガイド』* の詳細について説明します。手順を順番に実行して、スキャナーを接続してください。

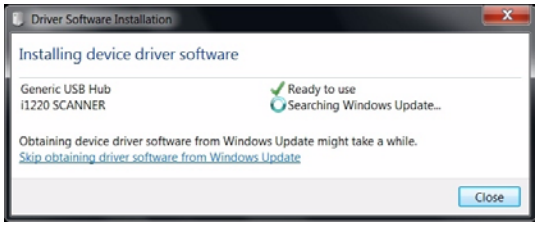
注：*『インストールガイド』* のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。

- まず、PC に接続しているすべてのスキャナーの電源を切ってから、s1220 フォトスキャンソフトウェアアプリケーションをインストールします。
- ソフトウェアをインストールしたら、s1220 のスキャナーを PC に接続します。
- PC の管理者権限を持っていることを確認します。s1220 フォトスキャンシステムアプリケーションは、**管理者権限**でインストールし、**管理者**または**標準**グループとして実行する必要があります。
- 稼働中のアプリケーションをすべて終了します。
- USB ソフトウェアドングルを使用しているアプリケーションをすべて終了してから、s1220 フォトスキャンシステムをインストールします。
- すべてのスキャンアプリケーション（Scan Validation Tool および Smart Touch を含む）を終了します。
- PC に接続された USB ソフトウェアゴングルをすべて取り外します。

Windows 7 と Windows XP 向けのインストールメモ

Windows 7

Windows 7 にインストールする場合、ソフトウェアをインストールし、スキャナーを起動すると次のメッセージが表示されます。



このメッセージは、正しいドライバがコダックドライバソフトウェアインストールの一部であるにもかかわらず、Windows 7 が必要なドライバを Microsoft の web サイトを検索しているために表示されます。このプロセスには数分かかる場合があります。この問題を回避するには、**「Windows アップデートからドライバソフトウェアを入手しない」**というリンクをクリックします。

Windows XP

Windows XP にインストールする場合、Storage 1.0 ソフトウェアの Microsoft Feature Pack の一部として以下の画面が表示されます。ブルーレイ用と表示されるため、誤解を招くおそれがあります。

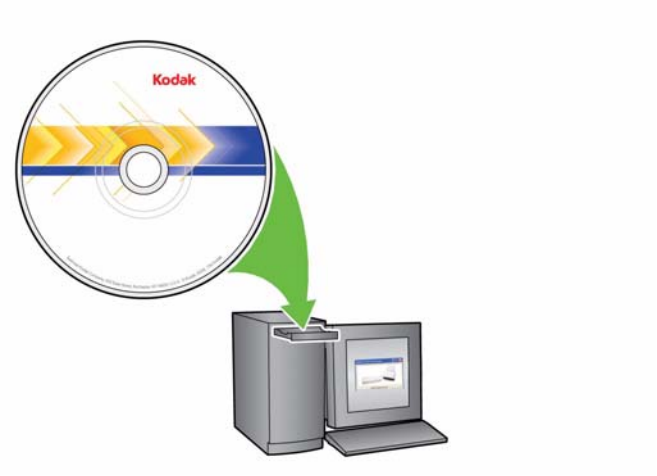
- このメッセージで **[次へ]** をクリックします。Windows XP で CD/DVD 作成機能を使用するには、このソフトウェアを CD/DVD バーナーにインストールする必要があります。

コダックドライバソフトウェアのインストール

1. コダック s1220 フォトスキャナーのインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

   注：インストールプログラムが自動起動しない場合、CD をセットしたドライブにアクセスして、CD のルートディレクトリにある INSTALLSTW.exe ファイルを起動します。

2. **[インストール言語]** を選択します。



3. [Welcome（ようこそ）] 画面が表示されたら、**[次へ]** をクリックします。
4. ソフトウェアライセンス使用許諾を読み、その条件を受諾したら、**[次へ]** をクリックします。
5. スキャンした画像をデフォルトの C:\Scanned_Pictures ディレクトリに保存する場合は、**[OK]** をクリックします。別の場所に保存する場合は、[参照] パネルで対象のディレクトリを選択するか、ディレクトリのフルパス名を入力します。その後、**[OK]** をクリックします。

   進捗状況を示すメッセージが数回表示されます。

   注：

   - .NET Framework の正しいバージョンがインストールされていない場合は、.NET Framework がインストール中であることを示すメッセージボックスが表示されます。このインストールには数分かかる場合があります。
   - 正しいバージョンの Microsoft C++ redistributable runtime library がインストールされなかった場合、ソフトウェアのインストールを促すメッセージが表示されます。**インストールプロセスをキャンセルしないでください。**
   - Windows XP の使用者はストレージ用に Microsoft Feature Pack のインストールが求められる場合があります。インストールするには **[はい]** を選択します。
6. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。
7. インストール CD を CD-ROM ドライブから取り出します。s1220 フォトスキャナーのショートカットがデスクトップに表示されます。
8. PC を再起動します。

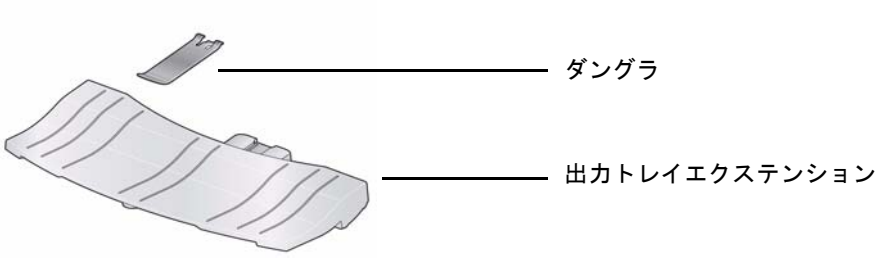
標準出力トレイの取り付け

1. 標準出力トレイを中央ガイドに沿ってスキャナー台座の下にスライドさせます。

2. 完全に押し込んで固定します。

*オプション*の出力トレイキットの取り付け

コダック s1220 フォトスキャナーには、オプションの出力トレイキットが標準装備されています。このキットには、出力トレイとダングラが含まれています。この出力トレイはオプションですが、大量の写真や書類をスキャンする場合は、このトレイの使用をお勧めします。

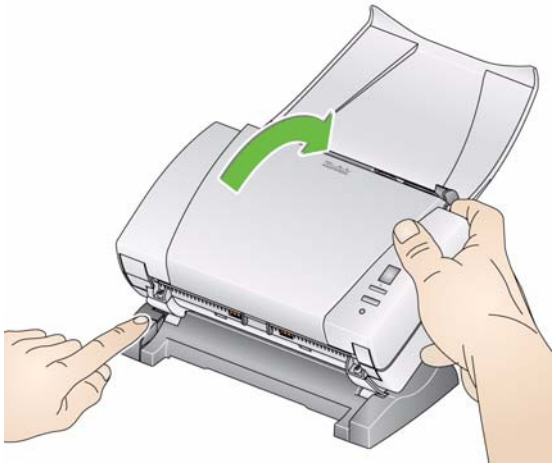


出力トレイキットを取り付ける場合：

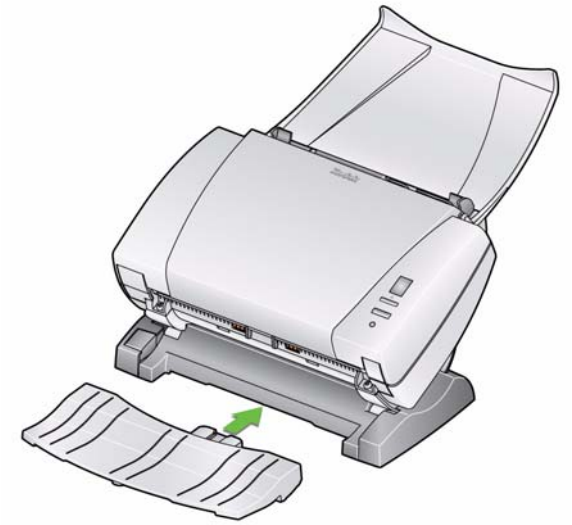
1. 2 つのタブを押し下げ、出力トレイを持ち上げて、スキャナー下部から標準の出力トレイを取り外します。

2. チルトボタンを押し下げ、スキャナー本体を下方向に角度を変えます。

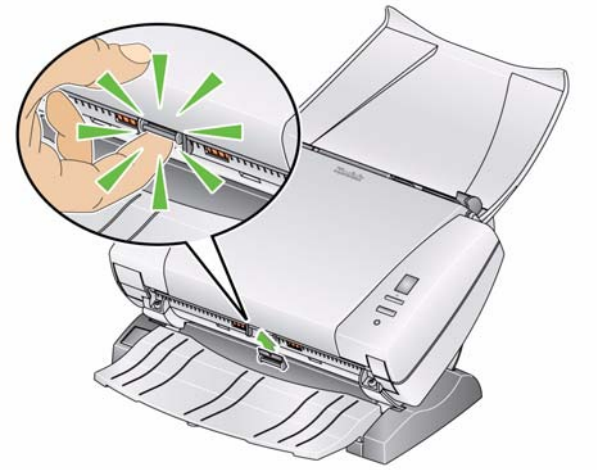
   注：この出力トレイを使用するとき、スキャナーは下向きにします。



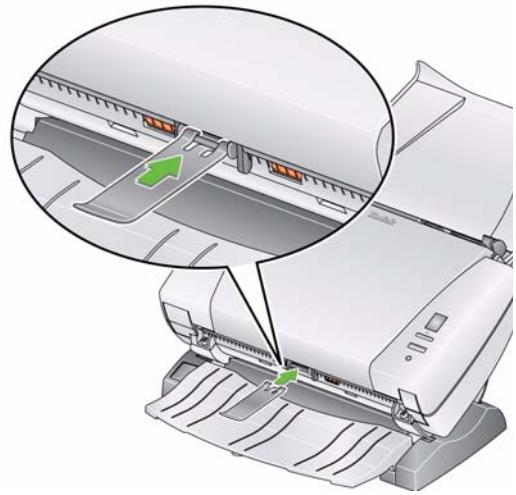
3. 中央ガイドに沿ってスキャナー台座下部に出力トレイエクステンションをスライドさせ、完全に固定されるまで押し込みます。



注：クリップが取り付けられていない場合は、スキャナー中央の溝の間にクリップをスライドさせ、固定されるまで押し込みます。いったん設置したクリップは、取り外す必要がありません。



4. ダングラをクリップに取り付けます。



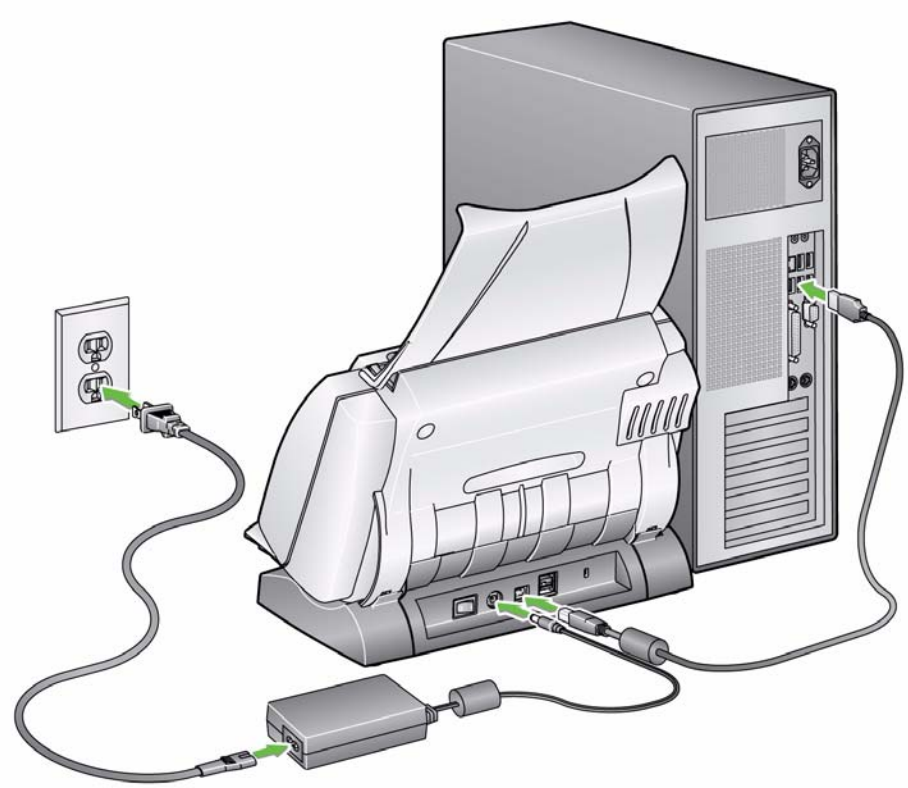
5. レールに沿って出力トレイエクステンション下部に出力トレイをスライドさせ、完全に固定されるまで押し込みます。

電源コードと USB ケーブルの接続

s1220 フォトスキャンソフトウェアアプリケーションをインストールしたら、電源、電源コード、USB ケーブルをスキャナーに接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーまで 1.52 m 以内にあり、余裕を持ってコンセントに接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 選択した電源コードを電源アダプタに接続します。

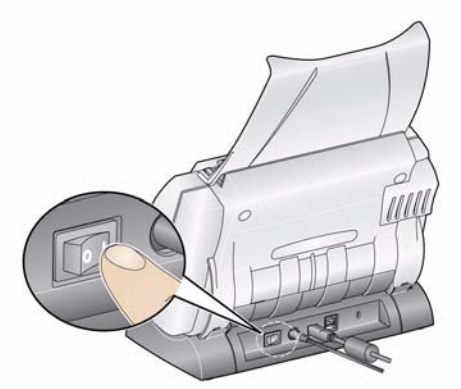
   注：電源コードが電源アダプタにしっかり接続されていることを確認してください。
3. 電源アダプタに付属しているコードをスキャナーの電源ポートに接続します。
4. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。



5. USB ケーブルをスキャナーの背面にある USB ポートに接続します。
6. USB ケーブルのもう一端を PC の正しい USB 2.0 ポートに接続します。

スキャナーの電源を入れるには

1. スキャナー背面のボタンを押してオンの位置 (|) にします。



スキャナーの電源を入れると、スキャナー前面の LED インジケータが点滅し、スキャナーが一連のセルフテストを実行していることを示します。

オペレーティングシステムがスキャナーとインストールしたソフトウェアを同期させるまで待機します。

初期化処理が終了してスキャン準備完了になると、LED インジケータが点滅しなくなり、緑色に点灯した状態になります。

2. スキャナーの設定が完了し、写真のスキャンができるようになったら、PC の USB ポートに USB ソフトウェア ドングルを挿入します。PC が USB ソフトウェア ドングルを認識するまで待機します。

注：USB ソフトウェア ドングルを無くさないよう注意してください！ドングルを再発行するには手数料が発生します。ドングルはスキャナー USB ケーブルに取り付けることをお勧めします。

アプリケーションソフトウェアの起動

- デスクトップにあるアプリケーションのショートカットをダブルクリックするか、**[スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [s1220 Photo System] > [s1220 Photo Scanner]** の順に選択します。[顧客情報] 画面が表示されます。

ソフトウェアの終了

- ほとんどの画面で、右下にある **[終了]** アイコンをクリックするか、右上にある **[閉じる]** ボックスをクリックします。

3 画面の説明

目次

［顧客注文情報］画面 3-2
［画像のスキャン］画面 3-3
［スキャン設定］画面 3--7
［画像の編集］画面 3-9
［注文のプレビュー］画面 3-11
［詳細のプレビュー］画面 3-12
［注文の概要と作成］画面 3-13

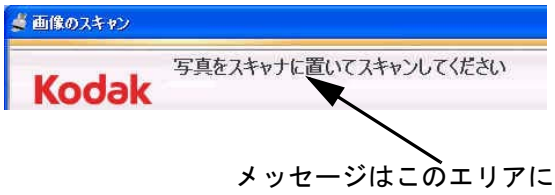
この章では、*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを使用する際に使う画面やアイコンについて説明します。

コダック s1220 フォトスキャンシステムの各画面には、次のアイコンがあります。

バージョン情報：ソフトウェアのバージョンと著作権情報を表示します。

終了：*コダック* s1220 フォトスキャンソフトウェアを閉じます。

メッセージエリアが各画面のタイトルバーの下にあります。



［顧客注文情報］画面

s1220 フォトスキャンソフトウェアを起動すると、[顧客注文情報] 画面が表示されます。

顧客情報

注文番号（必須）— 備考として付加するテキストも入力できます。この番号には、日付と時間が付加されます。これは入力必須フィールドです。このフィールドには、最大 51 文字の英数字を入力できます。

名前と住所 — オプションとして、顧客の名前、住所、電子メールアドレスを入力できます。これらは必須フィールドではありません。

- *姓*、*名*、*町名および番地*、*市*の各フィールドには最大 58 文字入力できます。
- *州 / 県 / 国*と*電話番号*のフィールドには、最大 42 文字入力できます。
- *電子メール*のフィールドには、最大 58 文字入力できます。電子メールアドレスを入力する場合は、アドレスのフォーマットが正しいものでなければなりません。
- *郵便番号*のフィールドには、最大 24 個の数字を入力できます。

  注：この情報は、.xml ファイル形式で画像が保存される同じディレクトリに保存されます。

続行 — [画像のスキャン] 画面を表示します。

[画像のスキャン] 画面

[顧客注文情報] 画面で **[続行]** をクリックすると、[画像のスキャン] 画面が表示されます。

スキャン設定 — スキャン画面の上部に現在のスキャン設定が表示されます。この設定を変更したい場合、**[設定]** ボタンをクリックしてください。スキャン設定の詳細については、『［スキャン設定］画面』を参照してください。

16 画面表示ウィンドウ — 1 度に最大 16 枚のイメージを表示します。

戻る — [顧客注文情報] 画面に戻ります。

初めからやり直す — [顧客注文情報] 画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。確認メッセージ ***「最初からやり直しますか？ この操作を行うと、スキャンした全てのファイルが削除されます」*** と表示されます。

バッチスキャン — s1220 フォトスキャナーを使用して写真をバッチでスキャンします。

フラットベッドから — オプションのコダック A3 フラットベッドまたは A4 フラットベッドを接続している場合は、このオプションを選択すると、フラットベッドから写真をスキャンします。

画像修整ツール — このオプションを有効にすると、スキャン中に画像に入った線の除去が試行されます。画像修整ツールを有効にしてもスキャンプロセスは遅くなりません。画像に線が出る場合、大抵の原因はスキャナーに溜まったほこりや汚れです。スキャナーを常にきれいにして、画像に線が出ないようにしてください。

注：画像修整ツール は、フラットベッドスキャンには適用できません。

設定 — 選択するとスキャン設定画面が表示され、以下の設定を変更できます。バッチスキャンモード、イメージ最適化、解像度、など。スキャン設定の詳細については、『［スキャン設定］画面』を参照してください。

このグループ — 以下の値は、バッチのスキャンが完了するまで 0 となっています。

- **画像**：[16 画面表示] ウィンドウに表示されている最初の画像の番号が表示されます。
- **受信者**：[16 画面表示] ウィンドウに表示されている最後の画像の番号が表示されます。
- **送信先**：バッチ内のスキャンした写真の合計数を表示します。

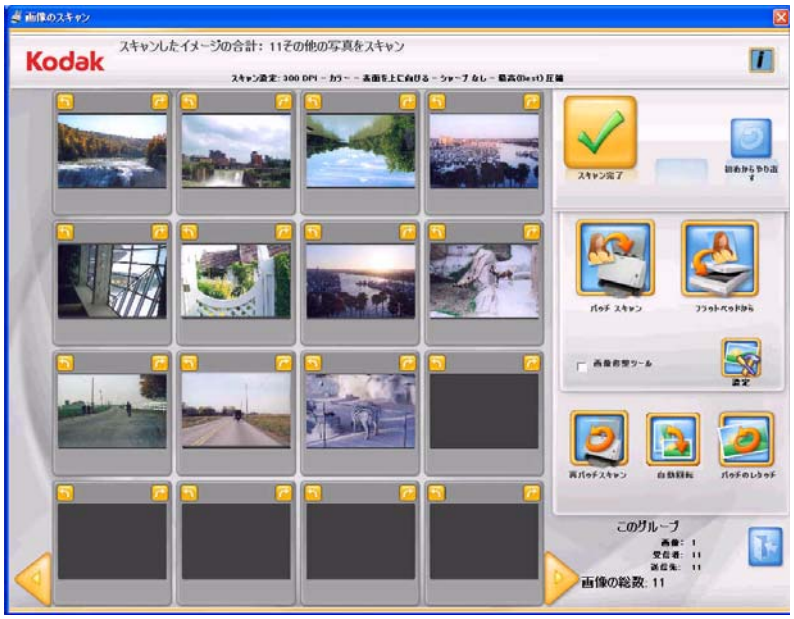
画像の総数：現在の注文内のスキャンした画像の合計数を表示します。

前の 16 画面に戻ります。

次の 16 画面に進みます。

[画像のスキャン] 画面（続き）

[画像のスキャン] 画面で **[バッチスキャン]** または **[フラットベッドから]** をクリックすると、写真のスキャンに伴ってサムネイル画像が [16 画面表示] ウィンドウに表示されます。バッチのスキャン後、写真はスキャンされた順番に並び替えられ、表示されます。バッチ全体または個別のイメージを編集したり、現在の顧客注文にある次のバッチをスキャンできます。



注：個々の画像を編集するには、編集したいサムネイルをクリックします。[画像の編集] 画面が表示されます。

16 画面表示ウィンドウ — 1 度に最大 16 枚のイメージを表示します。

画像を左回り (反時計回り) に 90 度回転します。

画像を右回り (時計回り) に 90 度回転します。

前の 16 画面に移動します（画像がある場合）。

次の 16 画面に移動します（画像がある場合）。

スキャン完了 — 注文のプレビュー画面が表示されます。

初めからやり直す — ［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。確認メッセージ ***「最初からやり直しますか？ この操作を行うと、スキャンした全てのファイルが削除されます」*** と表示されます。

バッチスキャン — コダック s1220 フォトスキャナーから、他のバッチの写真を同じ注文番号にスキャンできます。

フラットベッドから — フラットベッドから別の写真をスキャンできます。

画像修整ツール — このオプションを有効にすると、スキャン中に画像に出た線の除去が試行されます。画像修整ツールを有効にしてもスキャンプロセスは遅くなりません。画像に線が出る場合、大抵の原因はスキャナーに溜まったほこりや汚れです。スキャナーを常にきれいにして、画像に線が出ないようにしてください。

注：画像修整ツール は、フラットベッドスキャンには適用できません。

設定 — 選択するとスキャン設定画面が表示され、バッチごとに以下の設定を変更できます。バッチスキャンモード、イメージ最適化、および解像度。スキャン設定の詳細については、『[スキャン設定] 画面』を参照してください。

再バッチスキャン — 直前にスキャンしたバッチの画像を再スキャンして置き換えます。

自動回転 — 有効にすると、s1220 フォトスキャン ソフトウェアはイメージが正しい方向に自動的に回転するよう試行します。このオプションは、写真が顔を含む場合に最も効果的なため、手動で写真を回転する必要がある場合もあります。

両面スキャンでは、裏面イメージは表面イメージで検出された方向に自動的に回転されます。

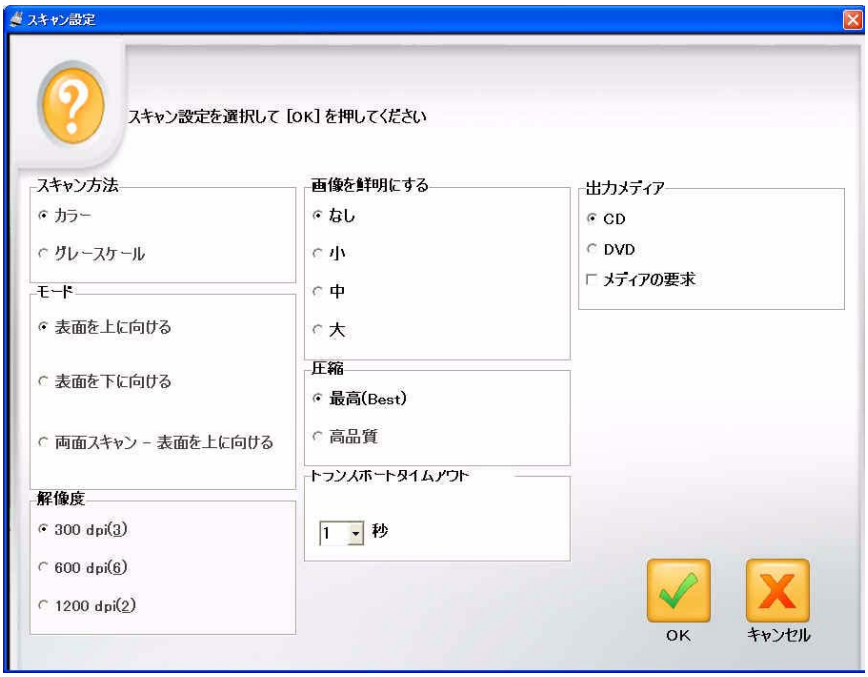
バッチのレタッチ — バッチの画像すべてを自動的に編集 (色、コントラスト、明度など）します。このオプションを選択すると、*[画像のレタッチ]* の進捗を示すバーが画面の上部に表示されます。

このグループ — 以下の値は、バッチのスキャンが完了するまで 0 となっています。

- **画像**：[16 画面表示] ウィンドウに表示されている最初の画像の番号が表示されます。
- **受信者**：[16 画面表示] ウィンドウに表示されている最後の画像の番号が表示されます。
- **送信先**：バッチ内のスキャンした写真の合計数を表示します。

［スキャン設定］画面

［スキャン設定］画面では、スキャンプロセスで使用されるデフォルト設定を変更できます。



スキャン方法 — **カラー**または**グレースケール**のいずれかを選択します。

注：スキャン画像にレタッチや最適化プロセルを適用するために（白黒やグレースケールを含め）すべての写真をカラースキャンすることをお勧めします。**グレースケール**スキャンは、カラースキャンの結果が思わしくない場合にのみ使用してください。

モード — 次のバッチスキャンモードの 1 つを選択します。

- **表面を上に向ける** — 入力トレイに写真が上向きに置かれている面をスキャンします。写真にはこのモードをお勧めします。
- **表面を下に向ける** — 入力トレイに写真が下向きに置かれている面をスキャンします。
- **両面スキャン – 表面を上に向ける** — 写真の両面を A と B とラベル付けされた個別のイメージファイルとしてスキャンします。

解像度 — 1 インチあたりのドット数 (dpi) を選択できます。この選択は、画像のサイズに影響します。オプションは、300 dpi、600 dpi、1200 dpi です。デフォルトは 300 dpi です。通常は、300 dpi で充分です。600 dpi または 1200 dpi を選択すると、スキャンと処理の時間が長くなります。

画像を鮮明にする — スキャンした画像のフォーカスや輪郭を鮮明にします。このオプションが選択されると、バッチ内のすべての写真（スキャンされる予定の写真）は設定が変更されない限り、最適化されます。

オプションは、

- **なし**：イメージは最適化されません。デフォルト設定です。
- **小**：最適化（小）が適用されます。
- **中**：最適化（中）が適用されます。
- **大**：最適化（大）が適用されます。

注：推奨される最適化設定は、**小**または**中**です。このオプションはグレースケール イメージでの使用はお勧めしません。

圧縮 — 次のいずれかの圧縮方式を選択します。**最高 (Best)** がデフォルトです。

- **最高 (Best)**：最適圧縮、最高画質 **高品質**圧縮よりもファイルサイズが小さくなります。スキャンされた画像ファイルを標準サイズで再度印刷する場合は、**最高 (Best)** を選択します。
- **高画質**：圧縮を最低限に抑えた高画質です。**最高 (Best)** の圧縮よりも 5 ～ 10 倍サイズが大きいファイルを作成します。ファイルサイズが大きいためパフォーマンスに影響します。スキャンした画像ファイルの拡大して再度印刷する場合は、**高画質**を選択します。

トランスポートタイムアウト：最後の原稿が転送されてからトランスポートタイムアウトが実行されるまでの時間を設定します。次の写真またはドキュメントを現在のバッチに入れるまでの時間を遅らせるために、1 ～ 20 秒の時間の遅延を指定できます。

出力メディア：ファイルを **CD** または **DVD** に収まるように分割するかどうかをファイルサイズに基づいて決定します。

- **メディアの要求**選択すると、スキャンの完了後、**CD** または **DVD** 出力を選択するように要求されます。

［画像の編集］画面

[画像のスキャン] 画面でサムネイルをクリックすると、その画像が [画像の編集] 画面に表示されます。

元の画像 / 編集後の画像 — [元の画像] 画面には、スキャンされた画像がそのまま表示されます。[編集後の画像] のアイコンの 1 つ（90 度回転など）を選択すると、その変更が [編集後の画像] 画面に反映されます。終了すると、変更を保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。

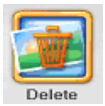
戻る — [画像のスキャン] 画面に戻ります。

初めからやり直す —［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。確認メッセージ ***「最初からやり直しますか？この操作を行うと、スキャンした全てのファイルが削除されます」*** と表示されます。

前の画像に戻る

次の画像に進む

画像の編集アイコン



選択された画像を削除します。

現在の画像を再スキャンした画像に置き換えます。再スキャンでは、表面を上に向ける、表面を下に向ける、（フラットベッドを接続している場合）フラットベッドからスキャンする、のいずれかを選択できます。

スキャンされた画像の色、コントラスト、明度などを編集します。このオプションはカラーモードでスキャンされた白黒、カラーイメージに適用します。

スキャンされた画像の赤目除去を行います。このオプションはカラーモードでスキャンされた白黒、カラーイメージに適用します。

画像を左回り（反時計回り）に 90 度回転します。

画像を右回り（時計回り）に 90 度回転します。

[注文のプレビュー] 画面

[画像のスキャン] 画面で **[スキャン完了]** をクリックすると、[注文のプレビュー] 画面が表示されます。この画面では、この顧客注文を完了する前に画像をプレビューして変更できます。

デフォルトでは、フォルダの最大サイズは CD で 650 MB、DVD で 4.4 GB です。顧客注文が含む画像が CD または DVD に収まりきれない場合は、スキャン時に複数のフォルダが自動的に作成されます。

フォルダサイズの設定の詳細については、7 章の「アプリケーションの設定」を参照してください。

ディスプレイ ウィンドウ — スキャンした写真のフォルダを表示します。フォルダをクリックすると、内容を見ることができます。

前のフォルダセットに移動します。

次のフォルダセットに移動します。

次へ — [注文の概要と作成] 画面を表示します。

初めからやり直す —［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。確認メッセージ ***「最初からやり直しますか？この操作を行うと、スキャンした全てのファイルが削除されます」*** と表示されます。

この注文 — 現在の顧客注文にあるフォルダの概要を表示します。

- **フォルダ** : [注文のプレビュー] ウィンドウに表示されている最初のフォルダの番号が表示されます。
- **受信者**:[注文のプレビュー] ウィンドウに表示されている最後のフォルダの番号が表示されます。
- **送信先** : 現在の顧客注文にあるフォルダの総数を表示します。

[詳細のプレビュー] 画面

[注文のプレビュー] 画面でフォルダをクリックすると、[詳細のプレビュー] 画面が表示されます。この画面では選択したフォルダ内の写真をプレビューし、必要に応じて編集できます。

16 画面表示 ウィンドウ — 選択したフォルダにある画像を 1 度に最大 16 枚表示します。

画像を左回り（反時計回り）に 90 度回転します。

画像を右回り（時計回り）に 90 度回転します。

前の 16 画面に移動します。

次の 16 画面に移動します。

続行 — [注文のプレビュー] 画面を表示します。

初めからやり直す — ［顧客注文情報］画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。確認メッセージ ***「最初からやり直しますか？この操作を行うと、スキャンした全てのファイルが削除されます」*** と表示されます。

フォルダのレタッチ — 選択したフォルダ内にある、カラーモードでスキャンされた白黒またはカラー画像すべての色、コントラスト、明るさなどを自動的に編集します。

自動回転 — 有効にすると、s1220 フォトスキャン ソフトウェアはイメージが正しい方向に自動的に回転するよう試行します。このオプションは顔を含む写真で有効に機能するので、写真の中には手動で回転する必要があるものもあります。

両面スキャンでは、裏面イメージは表面イメージで検出された方向に自動的に回転されます。

注：グレースケールの画像では、自動回転が比較的遅くなります。そのため、白黒写真はカラー画像としてスキャンし、カラースキャンの結果が思わしくない場合にのみ、例外的にグレースケールによるスキャンを使用することをお勧めします。

このフォルダ — 現在のフォルダにある画像の概要を表示します。

- **画像**：[16 画面表示] ウィンドウに表示されている最初の画像の番号が表示されます。
- **受信者**：[16 画面表示] ウィンドウに表示されている最後の画像の番号が表示されます。
- **送信先**：現在のフォルダにある画像の総数を表示します。
- **画像の総数**：スキャンした現在の顧客注文にある画像の総数を表示します。

[注文の概要と作成] 画面

[注文のプレビュー] 画面で **[続行]** をクリックすると、[注文の概要と作成] 画面が表示されます。この画面で注文を確定します。

ディスプレイウィンドウ — [顧客注文情報] 画面で入力した情報が表示されます。スキャンされた写真の数も表示されます。注文番号以外の顧客情報は必要に応じて変更できます。

注文を仕上げる — この注文を完了します。追加のスキャンは行えません。注文完了処理の一環として、オプションで注文の概要を印刷できます。

戻る — [注文のプレビュー] 画面が表示されます。

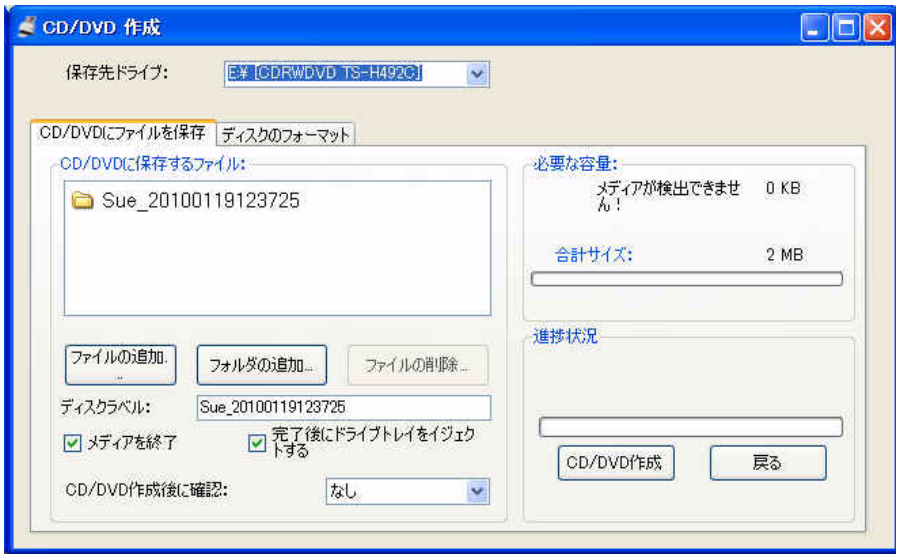
初めからやり直す — [顧客注文情報] 画面に戻り、現在の注文に関するすべてのデータをシステムからクリアします。確認メッセージ ***「最初からやり直しますか？ この操作を行うと、スキャンした全てのファイルが削除されます」*** と表示されます。

注文明細の印刷

- これを選択すると、オペレーティングシステムの [印刷] ダイアログボックスを使用して注文の概要を印刷できます。その後、別のスキャンセッションを開始するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- これを選択しない場合も、別のスキャンセッションを開始するかどうかを確認するメッセージが表示されます。別のスキャンセッションを開始しない場合は、アプリケーションが終了します。別のスキャンセッションを開始する場合は、[顧客注文情報] 画面が表示されます。

CD/DVD 作成 — [CD/DVD 作成] ダイアログボックスが表示され、この注文を CD または DVD にコピーできます。これと同じ CD/DVD に他のファイルやフォルダを追加することもできます。

注：ユーザに CD および DVD を作成する権限がない場合は、このボタンは無効な場合があります。詳細については、第 7 章の「アプリケーションの設定」を参照してください。

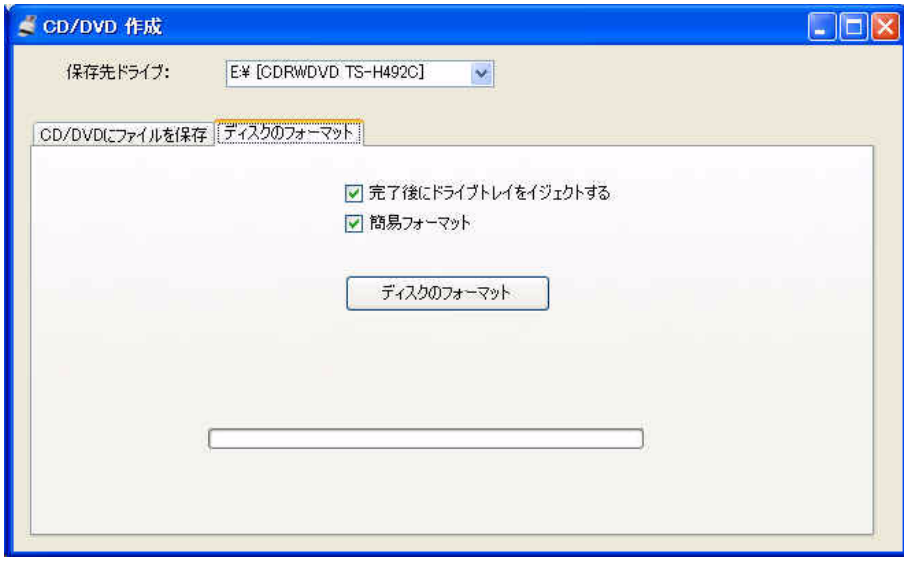


[CD/DVD にファイルを保存] タブ

- **保存先ドライブ**：画像を書き込むメディアとしての CD/DVD ドライブを選択できます。
- **CD/DVD に保存するファイル**：選択したメディア (CD/DVD) の 1 つに顧客注文一式が収まる場合は、デフォルトで顧客注文フォルダになります。複数のメディアが必要な場合は、注文に含まれる各フォルダが書き込み時に別々に呼び出されます。
- **ファイルの追加**：書き込むファイルおよびフォルダのリストにファイルを追加するのに使用します。
- **フォルダの追加**：書き込むファイルおよびフォルダのリストにフォルダを 1 つずつ追加するのに使用します。
- **ファイルの削除**：書き込むファイルおよびフォルダのリストから削除するファイルまたはフォルダを選択できます。
- **ディスクラベル**：デフォルトで注文番号になります。デフォルトは変更できます。このフィールドには最大 32 文字まで入力できます。
- **メディアを終了**：デフォルトで選択

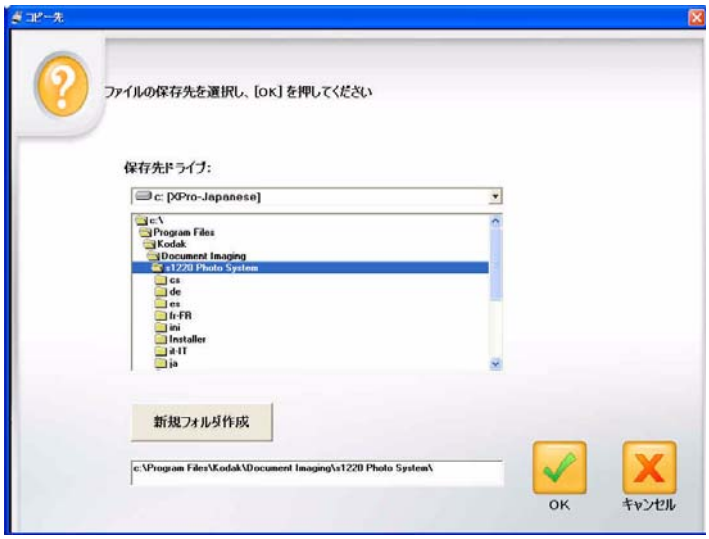
- **完了後にドライブトレイをイジェクトする**：選択すると、作成が完了したら CD/DVD が自動的にイジェクトされます。
- **CD/DVD 作成後に確認**：**作成が完了すると、[なし]**（検証が行われない）を選択するか、データが正常に書き込まれたかを検証するプロセスである **[簡易]** または **[完全]** を選択できます。
- **CD/DVD 作成 / 戻る**：このボタンをクリックして、CD/DVD の作成を開始またはキャンセルします。進行中の書き込みをキャンセルすると、書き込み中の CD/DVD が使用できなくなります。**[CD/DVD 作成]** を選択するとメディアが回転するので、書き込みの開始が遅れる場合があります。
- **戻る**：このボタンをクリックすると、[注文の概要と作成] 画面に戻ります。

[ディスクのフォーマット] タブ



- **完了後にドライブトレイをイジェクトする**：選択すると、フォーマットが完了したら CD/DVD が自動的にイジェクトされます。
- **簡易フォーマット**：選択すると、フルフォーマットよりも素早くディスクをフォーマットできます。
- **ディスクのフォーマット**：このボタンをクリックすると、ディスクのフォーマットが開始されます。書き換え可能なディスク（CD-RW、DVD-RW）のみフォーマットできます。

コピー先：[コピー先] ダイアログボックスが表示され、たとえば USB ドライブまたはネットワークドライブなどの別の場所に注文をコピーできます。



注：オプションで新規フォルダを作成するには、**[新規フォルダ作成]** ボタンの下のテキストボックスに新規フォルダの名前を入力し、**[新規フォルダ作成]** をクリックします。

4　写真のスキャン

目次

スキャナーの準備 4-1
写真の準備 4-3
取扱いのガイドライン 5-4
写真のスキャン 4-6

スキャナーの準備

スキャナーは上向き／下向きにできますが、下向きでスキャンすることをお勧めします。

下向き

1. スキャナーの電源が入っており、スキャンの準備が整っている（緑色のインジケータが点灯している）ことを確認します。
2. チルトボタンを押し下げて、スキャナーの角度を変えて、下向きにします。

   重要：チルト機能を使用する場合は、必ず、スキャナーカバーを閉じていることを確認してください。

3. サイドガイド を調整して（外側か内側にスライドさせる）、スキャンする写真のサイズに合わせます。

4. 入力トレイを調整します。入力トレイは、開いた状態でも閉じた状態でも、写真をスキャンできます。複数の写真をまとめてスキャンする場合は、入力トレイを開いて写真を給紙します。

入力トレイ - 開いた状態

入力トレイ - 閉じた状態

スペースの関係で入力トレイを閉じておきたい場合は、一度に 1 枚ずつ給紙します。

5. スキャン要件に合わせて出力トレイを調整します。
   - 標準出力トレイの位置は、テーブルと並行になるように設定できます。この位置は、一度に数枚の写真をスキャンする場合に適しています。

   - 出力トレイを伸ばすと、最長 14 インチまでの写真に対応できます。

写真スキャンの準備

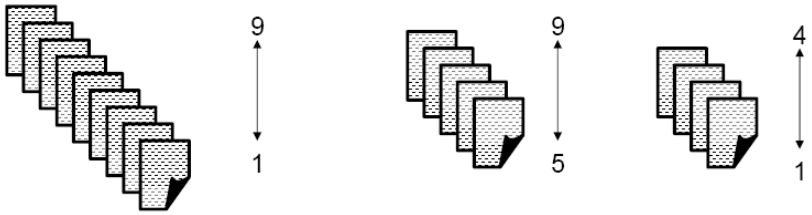
1. スキャンする写真は、先端を揃えて、入力トレイの中央に来るように重ねます。これにより、写真をフィーダから 1 枚ずつスキャナー内に送り込むことができます。
2. ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。写真がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや写真が損傷を受ける場合があります。
3. スキャンを開始する前に、写真のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
4. スキャンする写真をスキャナーの入力トレイにセットします。必ず、写真のスキャンしたい面を上向きにしてください（下図参照）。

注：写真を特定の順序に保ちたい場合は、以下の手順に従います。

写真を手に持ち、表を下にしてテーブルに置きます。この写真の束の上部から最初の束を取り、スキャナーの中に表を上にして置きます。

たとえば、束に 9 枚含まれるのであれば、写真 1 がテーブルに面し、写真 9 の裏が束の最上部にくるように表を下にしてこれらの写真の置きます。この束の上から 5 枚 (9,8,7,6,5) 写真を取り、表を上にしてスキャナーに置いてスキャンする場合、スキャナが空になったら残りの写真 (4,3,2,1) を表を上にしてスキャナに置きます。

例 1



この束が完全にスキャンされたら、写真 1 が画像 1 に、写真 9 が画像 9 になるように、ソフトウェアによって画像ファイルが整理されます。この方法を使用している場合は、スキャン中にスキャナーを停止しないでください。そうしないと、写真が意図した順序になりません。この方法を使用してトランスポートタイムアウトを増やしてください。

または、写真を手に持ち、表を上にしてテーブルに置きます。この写真の束の上部から最初の一束を取り、スキャナーの中に表を上にして置きます。**[バッチスキャン]** を選択します。写真の束のスキャンが完了し、スキャナーが停止したら、別の束をスキャナーに置き、**[バッチスキャン]** を選択します。この方法を使用する場合、各バッチのスキャン後にスキャナーを停止できなければなりません。そうしないと、写真が意図した順序になりません。

例 2

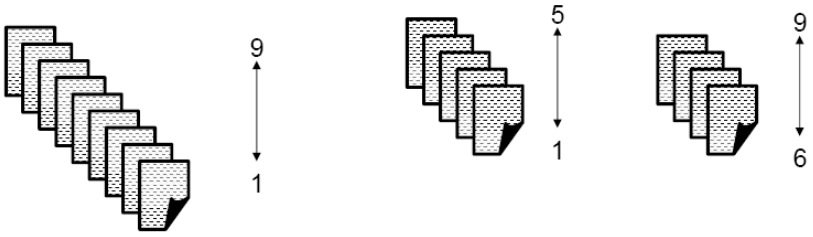


写真	以前のバージョン	本バージョン
1	XXXX_09.jpg	XXXX_01.jpg
9	XXXX_01.jpg	XXXX_09.jpg

取扱いのガイドライン

時間を節約し、効率を向上させるために、写真のバッチをスキャンする前に次のガイドラインを読んでください。写真の取扱い方とスキャナー清掃の重要性については、第 6 章*「画質の向上」*で詳細を参照してください。

- **写真の取り扱いには注意してください。**手を清潔にするか、きれいな白い綿手袋をはめてください。写真の表面に触れないでください。
- 脆くなった写真や貴重な写真のスキャンには、*コダック* A3 または A4 フラットベッドアクセサリを使用し、自動フィードによって破損するリスクを回避してください。
- スキャナーは清潔でほこりのない環境で使用してください。
- 使用していない場合は、スキャナーにカバーをかけてください。
- 写真を不必要に折ったり曲げたりしないでください。
- 著作権保護法により、著作権で保護されたプロによる写真は、所有者の書面による同意なくスキャンすることはできません。
- 写真の両面スキャン :
  - 両面をスキャンする必要のある写真が何枚かある場合、このような写真はまとめて別のバッチにします。これにより、不要な白紙の画像を削除する手間が省けます。
  - 両面写真を再スキャンする場合は、再スキャンしたい面を選択してください。
- 色の編集や明度の調整などが必要な写真が何枚かある場合、このような写真は 1 つのグループにまとめてください。スキャン後に **[バッチのレタッチ]** を選択すると、ソフトウェアによってバッチの画像すべてが同時に編集されます。
- [画像の編集] 画面に表示されている 16 枚の画像のうち 1 つを削除すると、次の 16 枚の先頭にある画像が繰り上がって表示されます。
- 600 dpi または 1200 dpi で **[イメージを鮮明にする]** を使用すると、処理時間が著しく増大します。このオプションをグレースケールイメージに使用するのはお勧めしません。

写真のスキャン

スキャンを開始する前に、s1220 フォトスキャナーの電源が投入されて準備が整っていることと、USB ソフトウェアドングルが PC の USB ポートに挿入されていることを確認してください。

1. デスクトップにある s1220 スキャナーソフトウェアのショートカットをダブルクリックするか、**[スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [s1220 Photo System] > [s1220 Photo Scanner]** の順に選択します。システムの初期化中、スプラッシュ画面が表示され、その後、[顧客注文情報] 画面が表示されます。

2. *[注文番号]* フィールドに、この注文を識別する文字列を入力します。最大 51 文字の英数字を入力できます。このフィールドは入力必須です。
3. *必要に応じて、姓、名、電話番号、町名および番地、市、州 / 県 / 国、郵便番号、電子メール*に関する情報を、各フィールドに入力します。
4. **[続行]** を選択します。[画像のスキャン] 画面が表示されます。

5. （バッチスキャンの場合は）最初のバッチをスキャナーの入力トレイにセットし、（フラットベッドスキャンの場合は）写真を 1 枚だけフラットベッドのプラテンにセットします。*[モード]* での選択により（**表面を上に向ける**など）、スキャンする面の向きが正しくセットされていることを確認します。

   注：

   - 最も効率よく写真をフィードするには、必ず、スキャナー本体を下向きに傾け、写真表面を上向きにしてスキャンします（下図参照）。

   - 写真はトレイ上でいちばん下にあるものからスキャナーに送られます。したがって、特定の順序でスキャンしたい場合は、この章に上述の「写真スキャンの準備」で説明した内容に従って写真をフィードしてください。

6. スキャン後、スキャナーが画像に入った線の除去を試行するようにする場合は、**[画像修整ツール]** を選択します。

7. デフォルトのスキャン設定（モード、解像度、イメージ最適化、など）を変更する場合は、**[設定]** をクリックします。

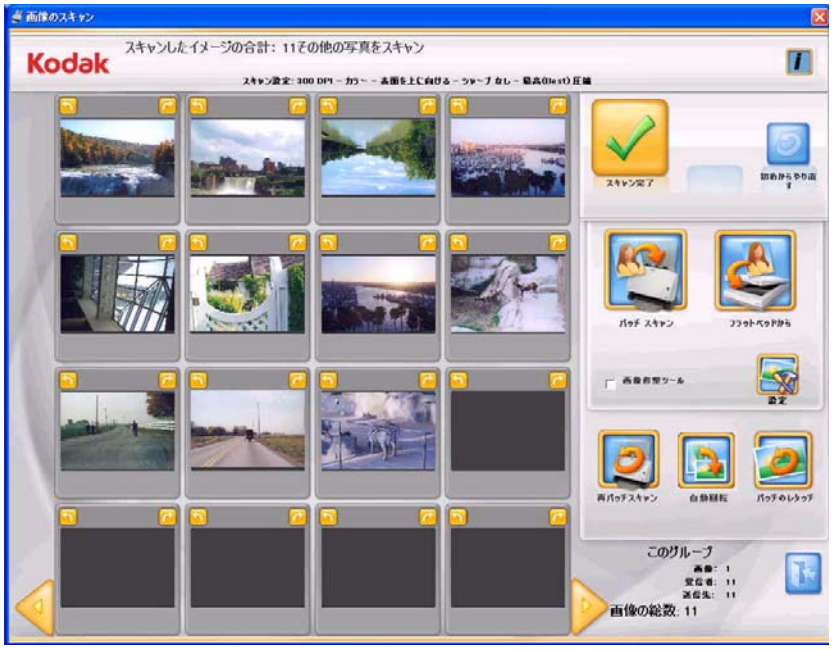
   注：バッチスキャンまたはフラットヘッドスキャンを開始する前は、いつでも設定を変更できます。

8. **[バッチスキャン]** または **[フラットベッドから]** をクリックします。***「スキャナーのランプをウォーミングアップしています。」***というメッセージが表示される場合があります。ランプの準備が完了すると（通常は数秒程度）、スキャンが開始されます。

   注：

   - オプションの*コダック* A4 フラットベッドまたは*コダック* A3 フラットベッドを使用する場合は、必ず、写真を下向きにしてプラテンに置いてください。
   - **[バッチスキャン]** を選択した場合、トランスポートタイムアウトの値に応じて、1 ～ 20 秒以内に写真を s1220 フォトスキャナーにセットします。

写真のスキャンに伴って、スキャンした画像が [16 画面表示] ウィンドウに表示されます。



9. 写真に変更を加える必要がなく、現在の顧客注文の写真をすべてスキャンしたら、**[スキャン完了]** をクリックします。
10. さらに写真をスキャンするか、写真を編集する場合などは、次のオプションを使用できます。
    - この注文で別のバッチをスキャンする場合、入力トレイに追加の写真をセットして、**[バッチスキャン]** をクリックします。
    - A3 または A4 フラットベッドアクセサリを使用して写真を 1 枚ずつスキャンする場合は、フラットベッドに写真をセットし、**[フラットベッドから]** をクリックします。
    - 必要に応じて、表示された画像ごとに回転の矢印を使用するか、**[自動回転]** を選択して、正しい方向に画像が自動回転されるようにします。このオプションは顔を含む写真で有効に機能するので、場合によっては手動で回転する必要がある写真もあります。
    - スキャンされたバッチに含まれるすべてのカラー画像の色、コントラスト、明るさなどを編集する場合は、**[バッチのレタッチ]** をクリックします。
    - 前回スキャンしたフラットベッドまたはバッチの画像を再スキャンして置き換える場合は、写真を入力トレイまたはフラットベッドに戻し、**[バッチのスキャンをやり直す]** をクリックします。[16 画面表示] ウィンドウがクリアされ、画面に再スキャンされた画像が表示されます。

- 画像を個別に編集する場合は (回転、削除、レタッチなど)、編集する画像をクリックします。[画像の編集] 画面が表示されます。

11. 目的の編集の完了後、**[戻る]** をクリックします。メッセージ ***「この注文のスキャンは完了しましたか？」*** が表示されます。
12. **[はい]** をクリックします。[注文のプレビュー] 画面が表示されます。

13. プレビューするフォルダを選択します。

[詳細のプレビュー] 画面が表示されます。

14. [詳細のプレビュー] 画面では、最終的な変更処理を行えます。完了したら、**[続行]** をクリックします。

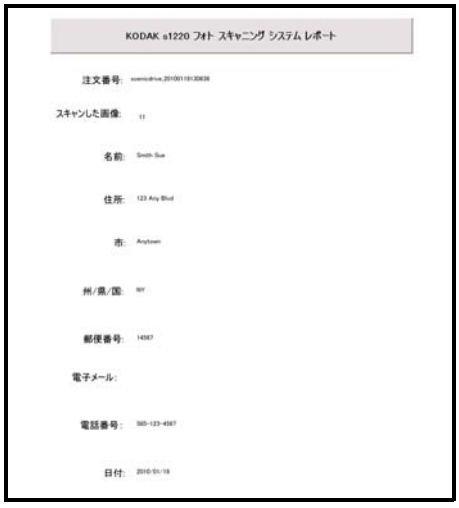
[注文のプレビュー] 画面が表示されます。

15. 注文処理の完了前にフォルダのコンテンツを見直す場合は、対象のフォルダを選択します。見直さない場合は、**[続行]** をクリックします。

[注文の概要と作成] 画面が表示されます。

16. 注文の概要に表示されている情報が十分であることを確認します。必要に応じて顧客情報を編集してください。

- 注文の概要を印刷するには、**[注文明細の印刷]** チェックボックスにチェックマークを付けます。**[注文を仕上げる]** をクリックすると、**[印刷]** ダイアログボックスが表示され、注文の概要を印刷できます。



- CD または DVD を作成する場合は、**[CD/DVD 作成]** をクリックして [CD/DVD 作成] 画面で選択を行います。
- 注文を他の場所にコピーしたい場合は、**[コピー先]** をクリックして任意のコピー先を選択します。

完了したら、メッセージ ***「コダック s1220 の新しいスキャンセッションを始めますか？」*** が表示されます。

17. 新しいスキャンセッションを開始する場合は、**[はい]** をクリックします。終了する場合は、**[いいえ]** をクリックして、コダック s1220 フォトスキャンソフトウェアを終了します。

デフォルトの設定でインストールした場合、スキャンした画像は **C:\Scanned_Pictures** に保存されます。これらの画像は、さまざまな用途に使用できます：（写真管理システムへのアップロード、CD/DVD への書き込み、印刷、e- メールによる送信など）。

注文が確定したら、その顧客注文に関する情報を記録した .xml ファイルが作成されます。この .xml ファイルはスキャンイメージ格納フォルダに保存されます。

5　メンテナンス

目次

スキャナーカバーの開け方 5-1
クリーニング手順 5-2
　ローラのクリーニング 5-2
　セパレーションモジュールのクリーニング 5-3
　フィードモジュールのクリーニング 5-4
　スキャナーの清掃 5-6
　イメージングガイドのクリーニング 5-6
　トランスポートクリーニングシートによるクリーニング 5-7
交換手順 5-8
　セパレーションモジュールタイヤの交換 5-8
　プリセパレーションパッドの交換手順 5-10
　フィードモジュールタイヤの交換 5-11
プリセパレーションローラのテンションの調整 5-13
消耗品 5-14

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーカバーを開ける前に、入力トレイが開いていることを確認し、オプションの出力トレイまたはダングラが接続されている場合は取り外します。
2. スキャナーカバーのリリースレバーを押したまま、スキャナーカバーを開きます。

3. スキャナーのクリーニングや部品の交換が完了したら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

クリーニング手順

スキャナーは定期的に清掃する必要があります。写真がうまく搬送できなくなったり、複数の写真が一度に搬送されたり、画像に線が入る場合は、スキャナーをクリーニングする必要があります。この章の終わりの「消耗品」には、スキャナーの清掃に必要な消耗品のリストが示してあります。

重要：コダック部品サービスから提供されているような不燃クリーナのみを使用します。家庭用クリーナは使用しないでください。

表面の温度が常温に下がってからクリーナを使用してください。高熱面にクリーナを使用しないでください。

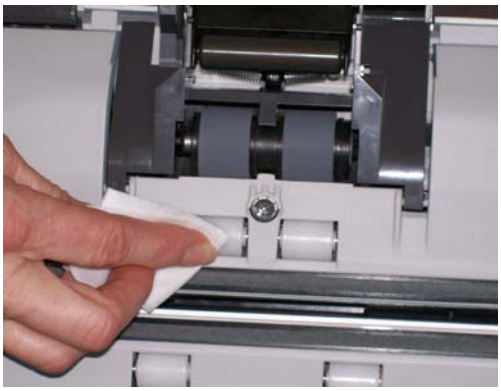
換気を行ってください。狭い場所でクリーナを使用しないでください。

注：

- クリーニング前に、電源を切断します。
- メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。

ローラのクリーニング

1. スキャナーカバーを開けます。
2. ローラークリーニングパッドを使って、フィードローラを磨くように拭きます。フィードローラを回しながら、全表面を清掃します。



重要：ローラークリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。

3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

セパレーションモジュールのクリーニング

スキャナーからセパレーションモジュールを取り外してからクリーニングすると効率が良いでしょう。

1. セパレーションモジュールを押し上げて取り外します。

2. セパレーションモジュールタイヤを回しながらローラークリーニングパッドで拭きます。

3. セパレーションモジュールを確認します。

   セパレーションモジュールタイヤに消耗や損傷している兆候が見える場合には、セパレーションモジュールを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

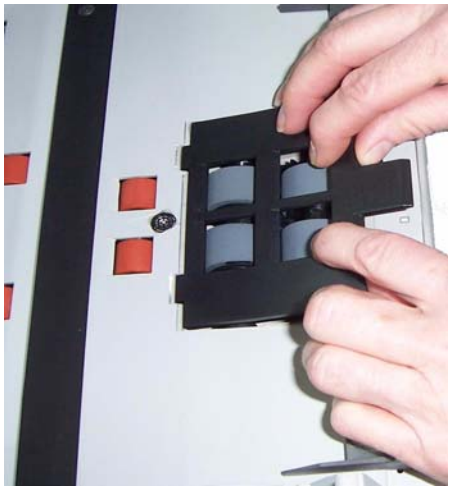
4. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

フィードモジュールのクリーニング

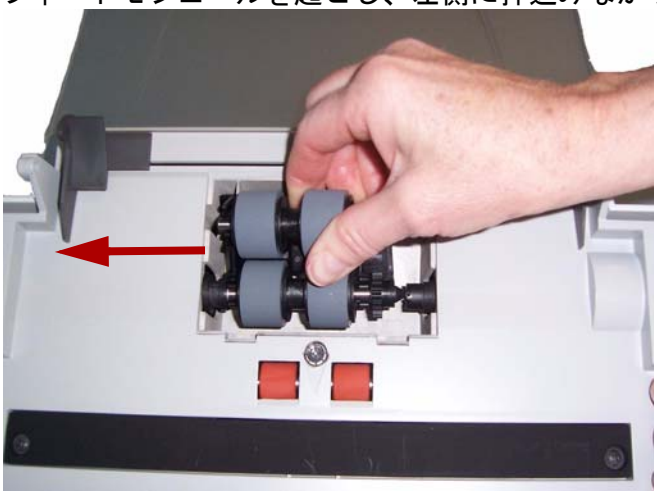
- フィードモジュールを取り外したり、クリーニングする場合、入力トレイを取り外した方が容易にフィードモジュールに手が届きます。入力トレイを取り外すには、入力トレイを右か左に軽く押して、溝からピンを外し、入力トレイを持ち上げて外します。

- フィードモジュールを取り外したり、フィードモジュールの周囲をクリーニングする場合、用紙センサを傷つけないように注意してください。

1. フィードモジュールカバー中央の先端をつまみ、持ち上げながら外します。



2. フィードモジュールを起こし、左側に押込みながら外します。



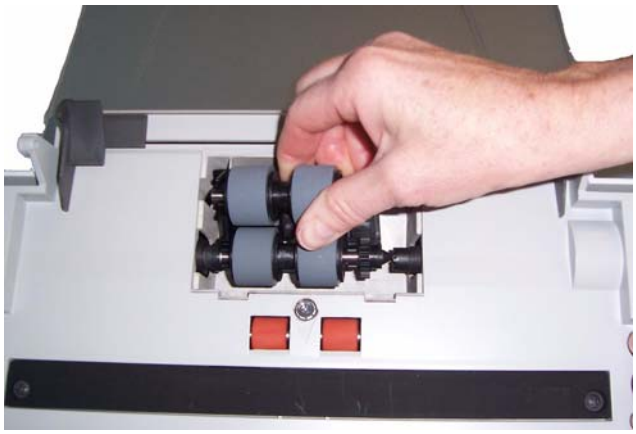
3. フィードモジュールタイヤを回しながら、ローラークリーニングパッドで拭いてください。

4. フィードモジュールを確認します。

   フィード モジュール タイヤに消耗または損傷している兆候が現れた場合には、フィード モジュールを交換します。詳細は「交換手順」を参照してください。

5. 掃除機やクリーニングパッドを使って、フィードモジュールのゴミやホコリを取り除きます。

6. フィードモジュールピンを合わせ、左に押込みながら定位置に戻します。歯車が正しくかみ合うように取り付けてください。フィードモジュールを元の位置に戻します。



7. タブを溝に合わせてフィードモジュールカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。

スキャナーの掃除

イメージングガイドをクリーニングする前に、スキャナー内部に掃除機を使って、ゴミやほこりを取り除きます。

イメージングガイドの清掃

1. 上下のイメージングガイドを手順 1 用のイメージングガイドクリーニングで拭います。イメージングガイドを傷つけないように注意してください。

2. 上下のイメージングガイドを、再度、手順 2 用のイメージングガイド クリーニングで跡を拭い、表面を磨きます。
3. 終了したら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

トランスポートクリーニングシートによるクリーニング

1. トランスポートクリーニングシートの包装を外します。
2. クリーニングシートに合わせてサイドガイドを調整します。
3. 入力トレイにトランスポートクリーニングシートを（粘着面を手前にして）縦にセットします。
4. スキャン用アプリケーションを使って、トランスポートクリーニングシートをスキャンします。
5. トランスポートクリーニングシートをスキャンしたら、裏返して（粘着面を入力トレイに向ける）もう一度スキャンします。
6. スキャナーカバーを開き、イメージングガイドを、イメージングガイド クリーニング セットに同梱されている柔らかい布で拭います。
7. スキャナーカバーを両手で閉じます。
8. イメージ品質を確認します。
9. 必要に応じて、この手順を繰り返し、ローラに残った汚れをすべて取り除きます。

注：クリーニング シートがかなり汚れたら、破棄して新しいシートを使用してください。

交換手順

*コダックスキャナーは、さまざまな種類、サイズ、厚みの原稿を給紙できる、交換可能なタイヤを使用しています。*タイヤの寿命とパフォーマンスは、ご利用の原稿の種類、搬送路とタイヤのクリーニングの頻度、推奨するタイヤ交換スケジュールに従っているかどうか、などの条件により異なります。一般的なタイヤ寿命は、約 60,000 ～ 125,000 枚の写真または原稿です。耐用年数については保証されていません。お客様の運用環境、原稿の種類、スキャン対象写真の状態、および推奨する清掃／交換手順の遵守状況によって、消耗品の寿命は異なります。後述の清掃手順に従って作業を行っても、重送、紙詰まり、フィーダパフォーマンスの低下などの問題が頻発する場合は、タイヤを交換してください。

注：

- 交換する前に、電源を切断します。
- 特定の用紙タイプ（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラの寿命が短くなることがあります。

セパレーションモジュールタイヤの交換

1. セパレーションモジュールを押し上げて取り外します。

- セパレーションモジュールを交換する場合、新しいセパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

- タイヤを交換する場合は、ステップ 2 に進んでください。

2. セパレーションモジュールを持ったまま、リリースレバーを後に回し、セパレーションローラーを取り出します。

注意：リリースレバーにはスプリングが付いているので、正しく保持しないと跳ね返るおそれがあります。充分に注意してください。

3. セパレーションモジュールからセパレーションローラーを取り外します。
4. 各タイヤを軸から外します。

5. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。

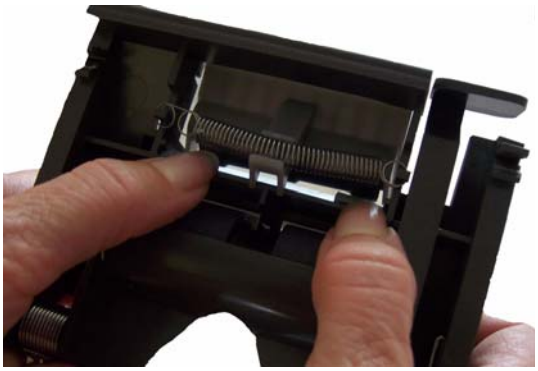
   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。破損する場合があります。

6. セパレーションローラを元の位置に取り付けます。正しい位置にセパレーションローラを取り付けてください。
7. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

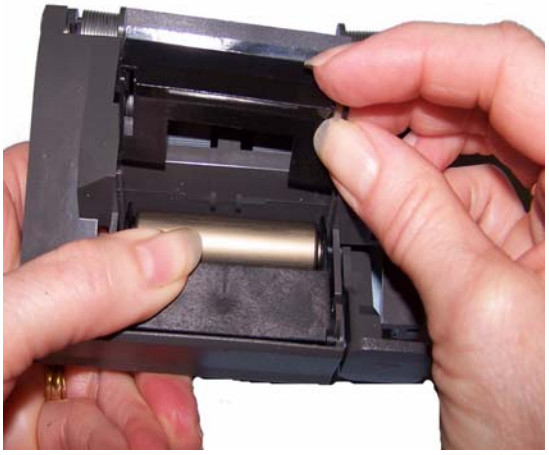
プリセパレーションパッドの交換手順

コダックs1220 フォトスキャナーは、プリセパレーションパッドが取り付けられていない状態で出荷されます。プリセパレーションパッドのインストールまたは交換が必要な場合は、次の手順に従ってください。

1. 「セパレーションモジュールタイヤの交換」で説明されている手順に従って、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外します。
2. 両手でセパレーションモジュールを持ち、セパレーションモジュールの後部からわずかに出ている、2 つのサイドタブを確認します。



3. サイドタブを、プリセパレーションパッドがセパレーションモジュールの前面から少し出るまで押し出します。
4. プリセパレーションパッドをつまみ、セパレーションモジュールから引き出します。

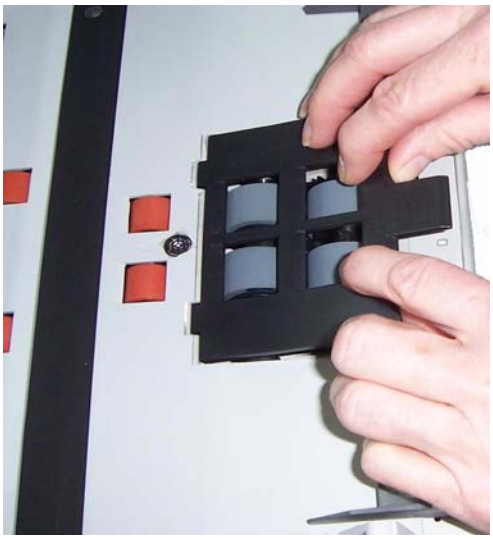


5. 使用済みのプリセパレーションパッドを破棄します。
6. 新しいプリセパレーションパッドのサイドタブと、セパレーションモジュールの溝を合わせます。
7. プリセパレーションパッドフラップがセパレーションモジュールタイヤに軽く付くまで、しっかりと押し込みます。
8. セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

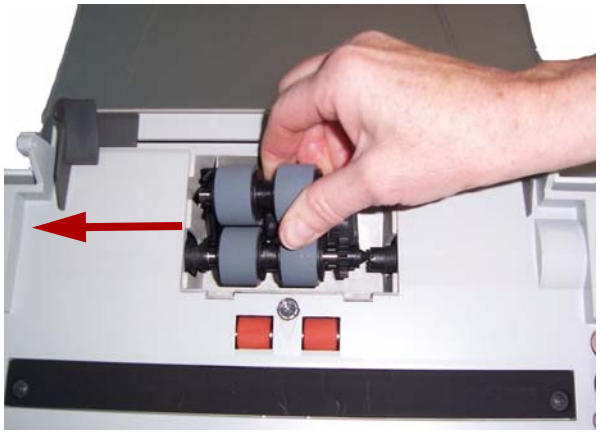
フィードモジュールタイヤの交換

注：用紙センサはフィードモジュールの右側にあります。フィードモジュールを取り外したり、フィードモジュールの周囲をクリーニングする場合、用紙センサを傷つけないように注意してください。

1. フィードモジュールカバーの突き出ている先端を押し、カバーを引き上げて取り外します。



2. フィードモジュールを起こし、左側に押込みながら外します。



- フィードモジュールを交換する場合、新しいフィードモジュールピンを合わせ、左に押し込みながら定位置に収めます。ギアが正しい位置にはめ込まれていることを確認し、ステップ 8 に進みます。
- タイヤを交換する場合は、ステップ 3 に進んでください。

3. コアアセンブリを持ち上げて取り外します。

4. 各タイヤを軸から外します。

5. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。

   重要: タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

6. フィードモジュールにコアアセンブリを取り付けます。フィードモジュールを正しく取り付けるために、シャフトを右か左にずらす必要がある場合もあります。

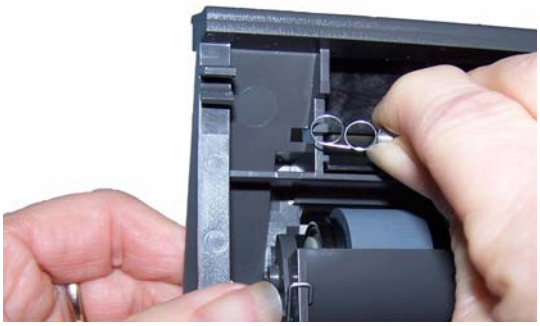
7. 上記の交換手順を繰り返し、もう一方のコアアセンブリのタイヤを交換します。
8. フィード モジュールを取り付けます。
9. タブを溝に合わせてフィードモジュールカバーを正しい位置に押し込み、しっかりと取り付けてください。

プリセパレーションローラのテンションの調整

重送または原稿詰まりが発生している場合は、プリセパレーションローラのテンションを調整する必要があります。

1. 「セパレーションモジュールタイヤの交換」で説明されている手順に従って、スキャナーからセパレーションモジュールを取り外します。
2. セパレーションモジュールのバネがあります。

3. このバネをホルダから持ち上げて左か右に動かし、テンションを調整します。



4. 完了したら、セパレーションモジュールのタブと溝の位置を合わせて、押し込みます。

供給品と消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

説明	CAT No.
フィードローラ i1200/i1300 用（数量：12)	148 4864
セパレーションモジュール i1200/i1300 用	173 6115
フィードモジュール i1200/i1300 用	826 9607
ローラークリーニングパッド（24 個）	853 5981
トランスポートクリーニングシート（50 シート）	169 0783
イメージングガイド クリーニング セット	826 6488
オプティカル クリーナパッド	868 3724

注：品目とカタログ番号は、変更される場合があります。

6 画質の向上

目次

スキャン環境 6-1
写真の取扱い 6-1
スキャナーのクリーニング 6-3
写真のスキャン 6-4
線の除去 6-4
バンディング 6-5

スキャン環境

泥やほこりは、デジタル画像に線が出るなど、写真スキャンに支障を生じさせる場合があります。また、スキャン中やスキャン後に写真に傷が付く原因となる場合もあります。

下記の推奨事項に従って、スキャン環境をできる限り清潔に保ってください。

- スキャナーとその周辺に頻繁に掃除機をかけます。
- スキャン環境から泥やほこりをできる限りなくします。スキャナー周辺のほこりを払う際には注意してください。不注意にほこりを払うと、他の周辺部にほこりを広げてしまいます。
- スキャナーを使わないときは、ダストカバーをかけてください。ダストカバーをスキャナーから外す際、カバーにほこりが積もっている場合は、注意深くカバーを外し、スキャナーから離れた場所でほこりを振り払ってください。
- スキャナーは、相対湿度が少なくとも 50 パーセントの場所で使用してください。環境が乾燥していると、ほこりの蓄積を促進する静電気を生じます。

写真の取扱い

スキャンの前に、写真がきれいなことを確認してください。汚れた写真をスキャンすると、スキャナーに泥やほこりがさらに蓄積する可能性があります。スキャナーに蓄積する泥やほこりを最小限にし、画像に線が出ないようにするには :

- **手袋をはめる** — 写真を取り扱う際に綿の手袋をはめると、手の皮脂が写真に付かなくなるため、スキャナー内に蓄積する泥やほこりの量を最小限に抑えられます。
- **写真をきれいにする** — 古く、ほこりっぽい写真には、注意しながら、優しく掃除機をかけます。また、写真をきれいにするには、マイクロファイバーの布巾（イメージングガイド クリーニング セットに添付されている布）または写真屋などで入手可能な同類のワイプを使用することもできます。これらは、糸くずが出ず、非常にやわらかい、研磨剤のない使い捨て雑巾です。これらは、エマルション、光学製品、スキャナー、CD に使用しても安全です。ほこりの除去は、常に、元の写真に傷を付けない方法で行ってください。

- **接着剤** — 写真に付いた糊やアルバムに関連する粘着物は、スキャナーのイメージングガイドに付着する可能性があります。それらの粘着物は適切なクリーナで除去してください。粘着物の付いた写真はコダックの A3 または A4 フラットベッドアクセサリでスキャンすることで、スキャナーにそれらの粘着物がたまるのを防ぐこともできます。
- **写真の曲がりを直す** — 著しくカールした写真は、スキャナーに通らない場合があります。可能な場合は、スキャンの前に写真の束の曲がりを安全な方法で直してください。

  注 : ひどく折れ曲がった写真は、方向を 90 度変えて、曲がりと搬送の方向が一致しないようにするか、コダック A3 ／ A4 フラットベッドアクセサリでスキャンします。

- **写真をほぐす** — 確実に搬送させるため、スキャン前に写真の束をほぐします。

- スキャンする写真の束の一番上には、必ず無地のトップシートを置いてください。このトップシートにより、直前の写真がスキャナー内に送りこまれるときのタイヤ跡が一番上の写真に付かなくなります。このトップシートは写真と共にスキャンされるので、このシートに顧客情報を記入することをお勧めします。

スキャナーのクリーニング

最良のスキャン結果を得るには、規定の***綿密な***クリーニング手順のほかに、***簡単な***クリーニングを頻繁に行うことをお勧めします。このレベル（簡単な）のクリーニングは、100 プリントごと、または画像に線が出る度に、頻繁に実行できます。クリーニング手順の詳細については、第 5 章*「メンテナンス」*を参照してください。

簡単なクリーニング：

1. スキャナーカバーを開き、イメージングガイドを調べて、目立つチリの粒子がないか確認します。
2. イメージングガイドをマイクロファイバクロスで拭い、チリの粒子を除去します。
3. ガラス部を拭った後、まだチリの粒子が残っていないかどうか再度確認します。
4. スキャナーカバーを閉じ、その後のスキャン結果を評価します。線などの問題が残っている場合は、おそらく、より綿密なクリーニングが必要です。綿密なクリーニング：
   - イメージングガイド クリーニング セット でイメージングガイドを拭います。これらのワイプは、非アルコール性の優れたクリーナーです。ウェットタイプの帯電除去ワイプとドライタイプのシリコンベースポリッシュの 2 種類を使って、スキャナーをクリーンな帯電防止仕上げにします。
   - トランスポートクリーニングシートをスキャナーに通して、（特にローラ上に）ついているチリの粒子を取り除きます。スキャナーの汚れ具合にもよりますが、このシートは数回使用できます。クリーニングシートがかなり汚れた場合は廃棄してください。
   - クリーニングの詳細については、第 5 章を参照してください。

写真スキャン

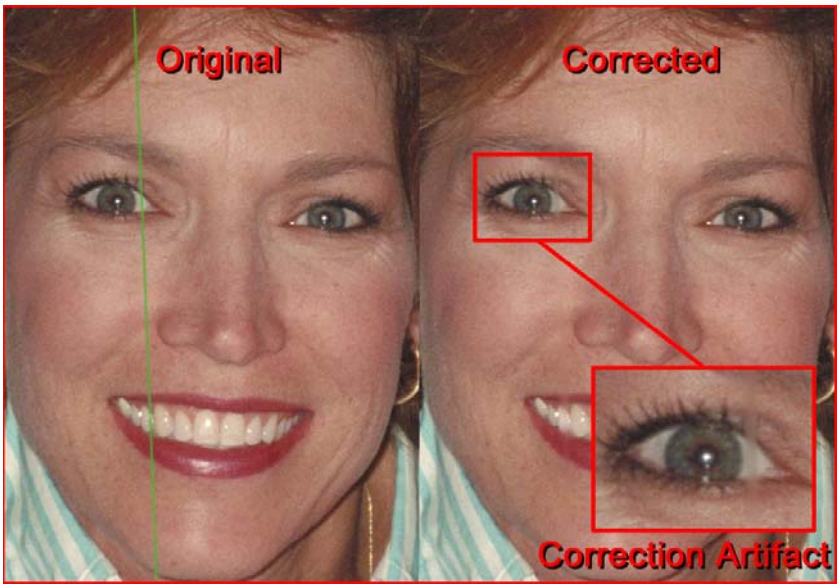
最良のスキャン結果を得るには：

- 写真は、表面を上に向けて入力トレイにセットしてください。これによって、プリントエマルションへの擦り傷を最小限に抑えることができます。
- *コダック* s1220 フォトスキャナーは、プリセパレーションパッドが取り付けられていない状態で出荷されます。スキャナー内に写真をフィードする際に問題が発生する（特に写真の曲がり）場合は、プリセパレーションパッドを取り付けてください。プリセパレーションパッドの取り付け手順については、第 5 章*「メンテナンス」*の「プリセパレーションパッドの交換手順」を参照してください。

重要：プリセパレーションパッドを取り付けて写真をスキャンする場合は注意が必要です。弊社のテストでは、プリントにかすり傷が付くリスクが高いことが判明しています。

線を減らす

コダック s1220 フォトスキャンシステムのソフトウェアは、画像に出る線を減らすように改善されています。線のない画像を取得する最良の方法は、スキャナーのイメージングガイドを清潔に保つことです。フォトスキャンシステムソフトウェアには、**画像修整ツール**と呼ばれるオプションがあります。このオプションを選択すると、スキャナーに蓄積したほこりにより発生するスキャンした画像への線の除去が試行されます。たいていの場合、修正の痕跡は、まったく識別できないか、ほとんど識別できません。ただし、線のサイズと線の存在する画像コンテンツによっては、若干目に付く修正アーチファクトが残ることがあります。この修正アーチファクトは、実際の線より好ましい場合がほとんどです。

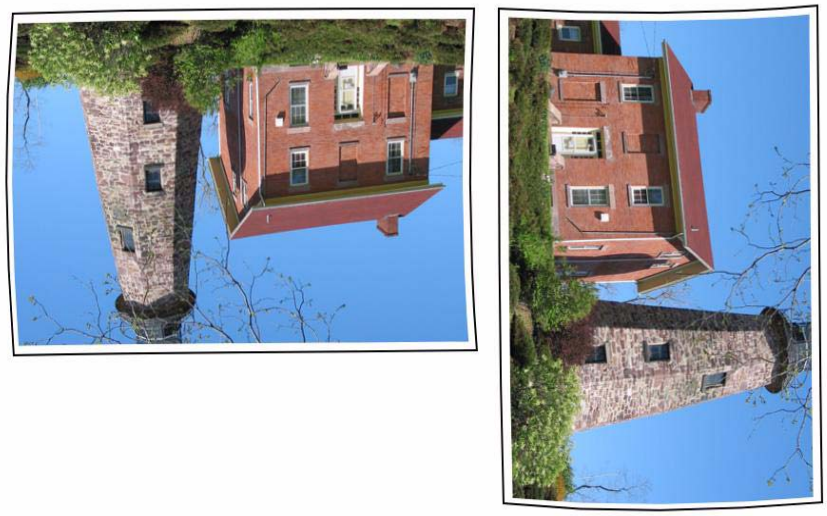


線の有無を確認する — スキャン中にサムネイルを見ているだけでは、線がないことを十分に確認できない場合があります。他の表示アプリケーションを使用すると、線を十分にチェックできます。スキャンはフルスクリーンで表示してください。最良の方法は、スキャンする写真のバッチを小さくし（約 50 枚）、それらの画像を他の表示アプリケーションでレビューすることです。

バンディング

バンディングは、写真が横方向に曲がった状態で、スキャナーを通過する際に発生することがあります。曲がった写真の画像に横方向の縞が出る場合は、写真を 90 度向きを変えて写真が搬送方向に曲がっていないようにすることをお勧めします。これにより、バンディングを最小限に抑えることができます。

注：写真上部の明るい箇所へのバンディングを最小化するには、写真を*上側から*搬送することをお勧めします。



スキャンする写真の束の一番上には、常に無地のトップシートを置いてください。このトップシートにより、バンディングが減少し、トップシートの直前の写真がスキャナー内に送りこまれるときのタイヤ跡が一番上の写真に付かなくなります。このトップシートは写真とともにスキャンされるので、このシートに顧客情報を記入することをお勧めします。

7　トラブルシューティング

目次

問題解決 7-1
インストールに関する問題 7-3
アプリケーションに関する問題 7-3
アプリケーションの設定 7-4
エラーコード 7-6
LED コード 7-10
サービスセンターへの問い合わせ 7-10

問題解決

スキャナーが正しく機能しない状況が発生することがあります。以下のチャートをガイドとして使用して、テクニカルサポートに問い合わせる前にご自分で問題を解決できるか確認してください。

問題点	解決方法
写真の詰まりが発生している、または、写真が重送されている	以下の点を確認してください。 • サイドガイドが、スキャンする写真の幅に合わせて調節されている。 • 出力トレイが、スキャンする写真の長さに合わせて調節されている。 • すべての写真が、付録 A *「仕様」* に記載されたサイズ、重量、タイプと一致している。 • スキャナーとタイヤが正しく清掃されている。 • プリセパレーションモジュールのバネのテンションが適切に調整されている。手順については、第 5 章 *「メンテナンス」* を参照してください。 • フィードモジュールとプリセパレーションモジュールが正しく設置され、しっかり固定されている。手順については、第 5 章 *「メンテナンス」* を参照してください。 • 写真は、静電気によりくっ付くことがある。写真の束をほぐすなどしてくっ付き合いをなくし、十分な周囲湿度を確保してください。 **写真の詰まりを解消するには：** *重要：　カバーを開く前に、必ず入力トレイが**上**に上がっていることを確認します。スキャナカバーを開く前に、詰まった写真をスキャナーから引っ張り出さないでください。* • スキャナーカバーを開けます。 • 詰まっている写真ををスキャナー内部から取り出します。 • スキャナーカバーを閉じて、スキャンを再開します。

問題点	解決方法
スキャナーが写真をスキャンしないか、スキャナーに写真が送り込まれない	以下を確認してください。 • 電源コードがスキャナー背面とコンセントにしっかりと接続されている。 • 電源の緑色の LED が点灯している。 • 電源スイッチがオンになっている。 • 電源コンセントに問題がない（資格のある電気技術者にお問い合わせください）。 • ソフトウェアのインストール後に PC を再起動している。 • 写真がフィードローラに接触している。 スキャナーを上向きの位置で、数枚の写真をフィードし、搬送しない場合は、下の方の写真を扇状にほぐして付着をなくし、フィードローラが最初の原稿をつかんでフィードプロセスを開始できるようにします。または、チルトボタンでスキャナーを下向きにさせます。
アプリケーションの表示ウィンドウや画面がゆがむ	ディスプレイの [表示プロパティ] の解像度設定を確認します。Normal（32 ビットカラーで 96 dpi）に設定されている必要があります。
画像が表示されない	• スキャンする面が（入力トレイの方でなく）上向きになっていることを確認します。詳細は第 4 章「写真のスキャン」の*「写真の準備」*を参照してください。
画像が正しくクロップされない	• 画像がバッチスキャナーから正しくクロップされていません。スキャンする写真の幅に合わせてサイドガイドを調整し、再スキャンします。 • 画像がフラットベッドから正しくクロップされない 写真の後に対照的な背景を置いて、再スキャンします。
スキャン後の写真にローラの跡が付いている	ローラを清掃します。手順については、第 5 章*「メンテナンス」*を参照してください。
カラー写真に線が入る	• スキャナーが汚れているのでクリーニングする必要があります。手順については、第 5 章*「メンテナンス」*の「クリーニング手順」を参照してください。 • [画像のスキャン] 画面の **[画像修整ツール]** オプションを選択して、線を最小限にします。 • 第 6 章の「簡単なクリーニング」も参照してください。
スキャナーの動作が遅すぎる	• PC スペックがスキャナーの最低要件を満たしていない場合があります。 • スキャナーは USB 2.0 で動作するように規格され、設計されていますが、USB 1.1 ポートでは機能しません。USB 1.1 接続を使用している場合、USB 2.0 にアップデートしてください。 • 600 dpi または 1200 dpi で写真をスキャンすると、スキャン処理が遅くなります。
Microsoft Windows Vista で [スタンバイ] または [休止] 後、スキャンできない	• Service Pack 2 にアップグレードしてください。 • このスキャナーの PC 上の USB 電源管理設定を無効にします。

インストールに関する問題

- デフォルトの設定でインストールした場合、スキャンした画像は **C:\Scanned_Pictures** に保存されます。これらの画像はさまざまな用途に使用できます（写真管理システムへのアップロード、CD/DVD への書き込み、印刷、E メールによる送信など）。
- s1220 フォトスキャンシステムでは、Microsoft .NET Framework 2.0 を使用します。.NET Framework 2.0 が PC にインストールされていない場合は、このシステムのインストール時に同時にインストールされます。
- コンピュータにセキュリティソフトウェアがインストールされている場合、s1220 フォトスキャンシステムのインストールを許可するかどうか尋ねられることがあります。**[許可する]** または **[はい]** を選択してください。間違って **[許可しない]** または **[いいえ]** を選択してしまった場合、セキュリティソフトウェアを開き、パーミッションを *[許可する]* に設定して、s1220 フォトスキャンシステムのインストールを許可してください。
- s1220 フォトスキャンシステムのインストールを開始する前に、現在実行中のスキャナーアプリケーションまたは USB ソフトウェアドングルを使用するアプリケーションを閉じ、接続しているスキャナーの電源を切ります。
- USB ソフトウェアドングルはコンピュータの USB 2.0 ポートに直接差し込みます。USB ハブ経由でコンピュータの USB ポートに差し込まないでください。USB 2.0 のハブを USB 1.1 のポートに差し込むと、WIBU ソフトウェアの自動ロードが行われない場合があります（次の問題もお読みください）。
- アプリケーションと USB ソフトウェアドングルのプラグインのインストール後に WIBU ソフトウェアの自動ロードが行われない場合、WIBU のインストールディスクを要求するメッセージが表示されることがあります。ソフトウェアディスクを持っていると回答し、s1220 フォトスキャンシステムのインストール CD が挿入されている CD ドライブを選択します。これで、WIBU ソフトウェアのインストールが完了します。

アプリケーションに関する問題

- *コダック* s1220 フォトスキャンシステムでは 1024 x 768 の固定画面サイズを使用します。タスクバープロパティを変更したい場合は、[タスクバーを他のウィンドウの前面に常に表示] の選択を解除してください。これにより、画面解像度が 1024 x 768 のとき、タスクバーがアプリケーションの下部を覆うことがなくなります。または、表示プロパティを 1024 x 768 より高い解像度（1280 x 1024 など）に設定して、アプリケーションがデスクトップ全体を覆わないようにすることもできます。
- 3 GB 未満のメモリを搭載したコンピュータを使用して高い解像度（600 dpi または 1200 dpi）でスキャン中に、スキャナーで **E9 紙詰まり**が発生する場合は、高解像度スキャンに必要な 3 GB RAM までメモリを増設する必要があります。

他のアプリケーションと競合してしまいます

ハードドライブ内の新しいイメージファイルを監視するイメージビューアやバックアッププログラムは、s1220 フォトスキャンシステムで使用中でも出力ファイル内のイメージファイルにアクセスする場合があります。これは特定の機能（レタッチ、回転、および自動回転）が正しく動作しない原因となります。フォトスキャンや製品をアンインストールする場合は、他のイメージ製品のためにフォルダウォッチ機能とバックアップ同期化機能を無効化します。HP TouchSmart Cyberlink Media Library Service (CLMLSvc.exe)、Western Digital SmartWare、Memeo Sync バックアップソフトウェアでこれらの問題が報告されています。

アプリケーションの設定

s1220 フォトスキャンシステムの設定は、特定の Windows オペレーティングシステムごとに指定されたディレクトリ（下記参照）にある PrintScan.ini ファイルの変更によって設定することもできます 出力 JPG ファイルの出力場所 (Target_Path) を変更したり、CD や DVD 書き込み用のフォルダサイズを調節できます。フォルダの最大サイズは、PrintScan.ini ファイル内の CDFolderSize および DVDFolderSize パラメータに新しい値を指定することで変更できます。

A3 および A4 サイズ対応フラットベッドスキャナーの回転は、FlatbedRotation パラメータを使用して設定します。

写真の表スキャンの順序を逆にする機能は、ReverseFaceUp パラメータを使用して有効 / 無効にできます。

他のパラメータのデフォルト値は最適な値に設定されていたり、スキャン設定画面で設定されているため、基本的には変更する必要はありません。

特定パラメータの変更に関する追加ガイダンスは PrintScan.ini ファイルから行うこともできます。

PrintScan.ini フォルダの場所

Windows XP：
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\kds_Kodak\s1220 Photo System

Windows Vista および Windows 7：
C:\ProgramData\kds_Kodak\s1220 Photo System

注：このフォルダは隠しフォルダの場合があります。その場合、Windows のオペレーティングシステムからフォルダを表示するよう、設定する必要があります。

CD/DVD 作成

管理者は、限定されたユーザ権限に対して CD/DVD の作成権限を与えることができます。

Window XP で適切なグループ権限パネルにアクセスするには：

1. **[開始] をクリックします。**
2. **[実行]** をクリックします。
3. **「gpedit.msc」**と入力します。

4. **[OK]** をクリックします。
5. グループポリシーインターフェイスで、**[Computer Configuration（コンピュータの構成）]**、**[Windows Settings（Windows の設定）]**、**[Security Settings（セキュリティの設定）]**、**[Local Policies（ローカルポリシー）]** の順に展開し、**[Security Options（セキュリティオプション）]** をダブルクリックします。
6. **[Devices**：**Restrict CD-ROM access to locally logged-on user only（デバイス**：**ローカルにログオンしたユーザのみに CD-ROM へのアクセスを制限）]** を **[Enabled（有効）]** に設定します。
7. **[Devices**：**Allowed to format and eject removable media（デバイス**：**取り外し可能なメディアのフォーマットおよびイジェクトを許可）]** を **[Administrators（管理者）]** と **[Power Users（パワーユーザ）]** または **[Administrators（管理者）]** と **[Interactive Users（対話型ユーザ）]** のいずれかに設定します。

エラーコード

コダック s1220 フォトスキャンシステムの使用中に発生する問題の解決方法については、次の表で確認してください。

エラーコード	メッセージ	説明
	Access to destination folder XXXX could not be set exiting the application.（対象フォルダ、XXXX へのアクセスを設定できませんでした。アプリケーションを終了します。）	PrintScan.ini ファイルにスキャンした写真用の有効な Target_Path があることを確認してください。
	[CD/DVD 作成] ボタンは無効です	管理者で実行するか、管理者に CD/DVD を作成するための限定された権限をユーザー権限に付与させます。第 7 章 *「アプリケーションの設定」* を参照してください。
10, 11, 12, 23	スキャナーと通信できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合は、サービスセンターに連絡してエラーコード XX を報告してください	s1220 スキャナーが接続されており、電源が入っていて、緑の LED が点灯していることを確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、コダックサービスセンターにお問い合わせください。
105, 106, 107, 108, 109	フラットベッドスキャナーと通信できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコードを報告してください 10X	フラットベッドが s1220 スキャナーに正しく接続されていることを確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、コダックサービスセンターにお問い合わせください。
110, 111, 112, 113, 114	画像修整ツールに障害が発生しました。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコードを報告してください 11X	コダックサービスセンターに問い合わせてください。
186	システム設定エラー。コダックのサービスセンターまでお問い合わせください。終了します	問題が解決しない場合は、コダックサービスセンターに連絡してください。
1001	エラーコード：1001. インストールエラー。イメージ処理のデフォルト値をフェッチできませんでした。PrintScan.ini を確認してください。終了中 ...	有効な PrintScan.ini が存在することを確認してください。*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章 *「設置方法」* を参照してください。
1002	エラーコード：1002. s1220.Profile からイメージ処理設定が読み込めませんでした。デフォルト設定で続行中です …	有効な s1220.Profile ファイルがあることを確認してください。*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章 *「設置方法」* を参照してください。
1003	エラーコード：1003. s1220 ドライバのバージョンが間違っています。詳細については、「s1220 フォトスキャナーユーザーズガイド」の第 7 章を参照してください	s1220 フォトスキャンシステムのソフトウェアでは、i1220 プラス スキャナーのドライバをサポートしていません。s1220 フォトスキャンシステムにそれらのドライバをインストールしないでください。s1220 フォトスキャナーのドライバを再インストールするには、s1220 フォトスキャナをオフにし、コダック s1220 フォトスキャンシステムのソフトウェア CD に含まれる i1220 フォルダから SetupFW_i1200_ v2.23.exe を実行します。PC を再起動し、s1220 フォトスキャナーの電源をオンにします。これにより、s1220 フォトスキャナードライバの正しいバージョンが再インストールされます。
1120	画像修整ツールに障害が発生しました。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコードを報告してください XXXX	問題が解決しない場合は、コダックサービスセンターに連絡してください。

エラーコード	メッセージ	説明
251085 : 1220	スタートエラー。*コダック* s1220 フォトスキャンのシステムコピー保護エラー。ライセンスが見つかりません	提供されている s1220 USB ソフトウェアドングルがコンピュータのUSB 2.0ポートに挿入されていることを確認してください。
4000	CD ／ DVD 作成がサポートされていません	• **管理者**で実行するか、管理者に CD/DVD を作成するための限定された権限をユーザー権限に付与させます。第 7 章 *「アプリケーションの設定」* を参照してください。 • CD/DVD バーナーが PC にインストールされているか確認します。
4001	Windows Feature Pack for Storage をインストールしてください	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章 *「設置方法」* を参照してください。
4002	デリゲート機能にエラーが発生しました	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章 *「設置方法」* を参照してください。
4003	レコーダーがサポートされていません	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムでサポートされていない CD/DVD バーナーもあります。外付けの USB CD/DVD バーナーなど、他のバーナーをご使用ください。Windows XP をご使用の場合は、Vista または Windows 7 にアップデートするか、CD/DVD バーナーに同梱のソフトウェアアプリケーションを使用して CD/DVD 作成を行ってください。
4004	サポートされたレコーダータイプの取得中にエラーが発生しました	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムでサポートされていない CD/DVD バーナーもあります。外付けの USB CD/DVD バーナーなど、他のバーナーをご使用ください。Windows XP をご使用の場合は、Vista または Windows 7 にアップデートするか、CD/DVD バーナーに同梱のソフトウェアアプリケーションを使用して CD/DVD 作成を行ってください。
4005	書き込み失敗	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムでサポートされていないCD/DVD バーナーもあります。外付けのUSB CD/DVD バーナーなど、他のバーナーをご使用ください。Windows XP をご使用の場合は、Vista または Windows 7 にアップデートするか、CD/DVD バーナーに同梱のソフトウェアアプリケーションを使用して CD/DVD 作成を行ってください。
4006	メディア検出エラー	CD/DVD バーナーに適切なメディアが挿入され、バーナーの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
4007	ディスク容量が足りないため、ファイル / フォルダを保存できません	CD/DVD バーナーに適切なメディアが挿入され、バーナーの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
4008	ファイル作成でシステムエラー発生	CD/DVD メディアに選択されたファイルおよびフォルダが収まるか確認します。
4009	ファイル追加中にエラー発生	CD/DVD メディアに同じ名前のファイルがすでに存在していないか、およびファイル用に十分な領域がメディアに存在するか確認します。

エラーコード	メッセージ	説明
4010	フォルダ追加中にエラー発生	CD/DVD メディアに同じ名前のフォルダがすでに存在していないか、およびフォルダ用に十分な領域がメディアに存在するか確認します。
4011	メディア消去に失敗しました	CD/DVD バーナーに適切なメディアが挿入され、バーナーの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
4012	CD/DVD 作成中にエラーが発生しました！	CD/DVD バーナーに適切なメディアが挿入され、バーナーの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
4013	ディスクのフォーマットに失敗しました！	CD/DVD バーナーに適切なメディアが挿入され、バーナーの準備が完了し、メディアが書き込み可能であるか確認してください。
6017	正しい USB ライセンスドングルが、PC の USB ポートに挿入されているか確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 6017 を報告してください	提供されている s1220 USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。
6XXX	正しい USB ライセンスドングルがコンピュータの USB ポートに挿入されているかどうか、確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 6XXX を報告してください	提供されている s1220 USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。
7000	WIBU のランタイムがインストールされているかどうか確認してください。WIBU ランタイム (WkRuntime.exe) はコダックスキャナーに同梱されている CD に格納されています	コダックサービスセンターに問い合わせてください。
7001	ライセンスの .dat ファイルが見つかりません。サービスセンターに連絡してエラーコード 7001 を報告してください	コダックサービスセンターに問い合わせてください。
8001	プロファイルエラー。STW のデフォルトのプロファイル設定が変更されていないかどうか確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 8001 を報告してください	コダック s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章*「設置方法」*を参照してください。
8002	スキャナー名が見つかりません。STW のデフォルトのプロファイル設定が変更されていないかどうか確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 8002 を報告してください	コダック s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章*「設置方法」*を参照してください。
9001, 9002, 9003	TWAIN ドライバを起動できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 900X を報告してください	コダック s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章の「コダックドライバソフトウェアのインストール」を参照してください。
9004	コダックのスキャナーが見つかりませんでした	s1220 スキャナーが接続されており、電源が入っていて、緑の LED が点灯していることを確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、コダックサービスセンターにお問い合わせください。

エラーコード	メッセージ	説明
9005	スキャナーが STW できるか確認してください	s1220 スキャナーが接続されており、電源が入っていることを確認してください。このエラーが繰り返し起こる場合、コダックサービスセンターにお問い合わせください。
9006, 9007, 9008, 9010	スキャナーに接続できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコード 900X を報告してください。	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章*「設置方法」*を参照してください。
9009	スキャナーから画像を取得できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコードを報告してください (9009)	コダックサービスセンターに問い合わせてください。
9011	スキャナーを実行できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコードを報告してください 9011	*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。第 2 章*「設置方法」*を参照してください。
XXXX	スキャナーに接続できませんでした。再試行してください。このエラーが繰り返し起こる場合、サービスセンターに連絡してエラーコードを報告してください XXXX	提供されている s1220 USB ソフトウェアドングルがコンピュータの USB 2.0 ポートに挿入されていることを確認してください。
	PrintScan.ini ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました	有効な PrintScan.ini が存在することを確認してください。*コダック* s1220 フォトスキャンシステムを再インストールしてください。この章の「アプリケーションの設定」を参照してください。

LED コード

以下は、ファンクションウィンドウに表示されるコードの一覧です。エラーが発生すると、赤のインジケータが点滅し、ファンクションウィンドウに数字が表示されます。

コード	問題点	対処法
E 0	USB ケーブルが接続されていないか、デバイスドライバがスキャナーを認識していません	USB ケーブルがスキャナーと PC にしっかりと接続されているか確認し、また、デバイスドライバを一度アンインストールしてから再インストールしてください。
E 1 ～ E 5	スキャナーの故障	スキャナーの電源を切り、電源を入れ直してください。スキャンアプリケーションを再起動し、もう一度試してください。問題が解決されない場合は、コダックサービスセンターにお問い合わせください。
E 7、E 8		
E 6	スキャナーカバーが開いている	スキャナーカバーを閉めます。
E 9	紙詰まり	スキャナーを開き、搬送路にある紙を取り除きます。

注：スキャナーの LED が緑の場合、1 ～ 9 の数字が表示されることがあります。それらの数字はエラーコードではありません。[Scroll（スクロール）] ボタンと [Start（スタート）] ボタン、および Smart Touch ファンクションとともに使用されるファンクション番号です。

連絡先の情報

1. 国内のお問い合わせは、0120-085580 までお願い致します。
2. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
   - 障害の内容
   - スキャナーのシリアル番号
   - コンピュータの構成
   - 使用しているソフトウェアアプリケーション

付録 A　仕様

この付録では、スキャナーの使用とシステム要件について記載しています。

スキャナーの種類／速度	***コダック* s1220 フォトスキャナー**— 1 分間に最大 30 枚のカラー写真を 300 dpi でスキャンする両面スキャナー
イメージセンサとイメージ階調	CCD の種類 グレースケール出力階調 256 レベル（8bit） カラー読み取り階調は 48 ビット (16 x 3) です カラー出力階調 24 bit (8 x 3)
出力解像度	300 dpi、600 dpi、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	シングルページ JPEG フォトスキャン
写真の最小サイズ	63.5 x 50 mm
写真の最大サイズ	**スキャナー** ― 215 x 863 mm **A4 フラットベッド** — 219 x 300 mm **A3 フラットベッド** — 302 x 461 mm
写真の重量	34 g/m^2 ～ 413 g/m^2
フィーダ積載枚数	バッチあたり混合サイズの写真を最大 25 枚。写真の連続給紙に対応。フィーダ積載枚数最大 75 枚。用紙重量 34 ～ 413 g/m^2。最大 1.25 mm（ID カードの場合）
一日の推奨処理枚数	1,500 枚（写真）
光源	蛍光灯（冷陰極管）
電源要件	AC 100 ～ 240 V（海外対応）、50/60 Hz
外形寸法	**高さ**：246 mm （入力トレイを除く） **幅**：327.7 mm **奥行き**：162 mm （入力トレイと出力トレイを除く）
重量	5.5 kg
インターフェース	USB 2.0
使用環境温度	10°C ～ 35°C
湿度	10 ～ 85%
環境要因	国際エネルギースタープログラム適合
消費電力 — スキャナー	オフモード：<4 W 稼動時：<46 W
消費電力 — A3 フラットベッド接続時	オフモード：≤6 W 稼動時：<65 W
消費電力 — A4 フラットベッド接続時	オフモード：≤6 W 動作時：<57 W
騒音レベル （音圧レベル）	動作：58 dB (A) 未満 オフモード：30 dB (A) 未満
同梱ソフトウェア	*コダック* s1220 フォトスキャンソフトウェア

システム要件

コダック s1220 フォトスキャンシステムの実行に必要な最低システム構成は以下のとおりです。

- 3.2 GHz プロセッサ、ハードディスク空き容量 250 MB 300 dpi スキャン時は 1 GB RAM（Windows 7 では 2 GB）、600 と 1200 dpi スキャン時は 3 GB RAM （Windows 7 では 4 GB）
- USB 2.0 ポート 2 個（スキャナー用に (1 個、USB ソフトウェア ドングル用に 1 個）
- 対応 OS（すべてのオペレーティングシステムで、USB 2.0 をサポート。インストール用の管理者権限が必要）:
  - Microsoft Windows XP、Service Pack 3
  - Windows Vista、Service Pack 2
  - Windows Vista (64 bit)、Service Pack 2
  - Windows XP 64, Service Pack 2
  - Windows 7 (32 bit)
  - Windows 7 (64 bit)
- Microsoft .NET Framework 2.0（インストール CD に収録）

注：スキャン後の画像の取り扱いによって、CD/DVD ライタやフォトプリンタといった周辺機器が必要になります。

Kodak

コダック株式会社
東京都千代田区神田駿河台 2-9
KDX 御茶ノ水ビル
Rochester, NY 14650 U.S.A.
© Kodak, 2010. All rights reserved.
TM: Kodak